Minebea
Passion to Exceed Precision

決算説明会

2012年3月期

2012年5月10日
ミネベア株式会社

Minebea
Passion to Exceed Precision

１．業績の説明

２．経営方針と事業戦略

Minebea
Passion to Exceed Precision

業績の説明

取締役 専務執行役員　　加藤木 洋治

通期連結業績ハイライト

Minebea
Passion to Exceed Precision

東日本大震災、レアアース高騰、円高、タイ大洪水などで減収減益

（百万円）	2011年3月期 通期	2012年3月期 通期	前年比 伸び率
売上高	269,139	251,358	-6.6%
営業利益	22,163	8,599	-61.2%
経常利益	20,364	6,499	-68.1%
純利益	12,465	5,922	-52.5%
一株当たり純利益（円）	32.61	15.63	-52.1%

為替レート	11/3期 通期	12/3期 通期
US$	86.04円	79.07円
ユーロ	113.22円	110.20円
タイバーツ	2.75円	2.59円
人民元	12.78円	12.33円

4Q連結業績ハイライト

Minebea
Passion to Exceed Precision

タイ大洪水によるサプライチェーン混乱からの回復が進む
洪水保険金収入などで純利益は大きく改善

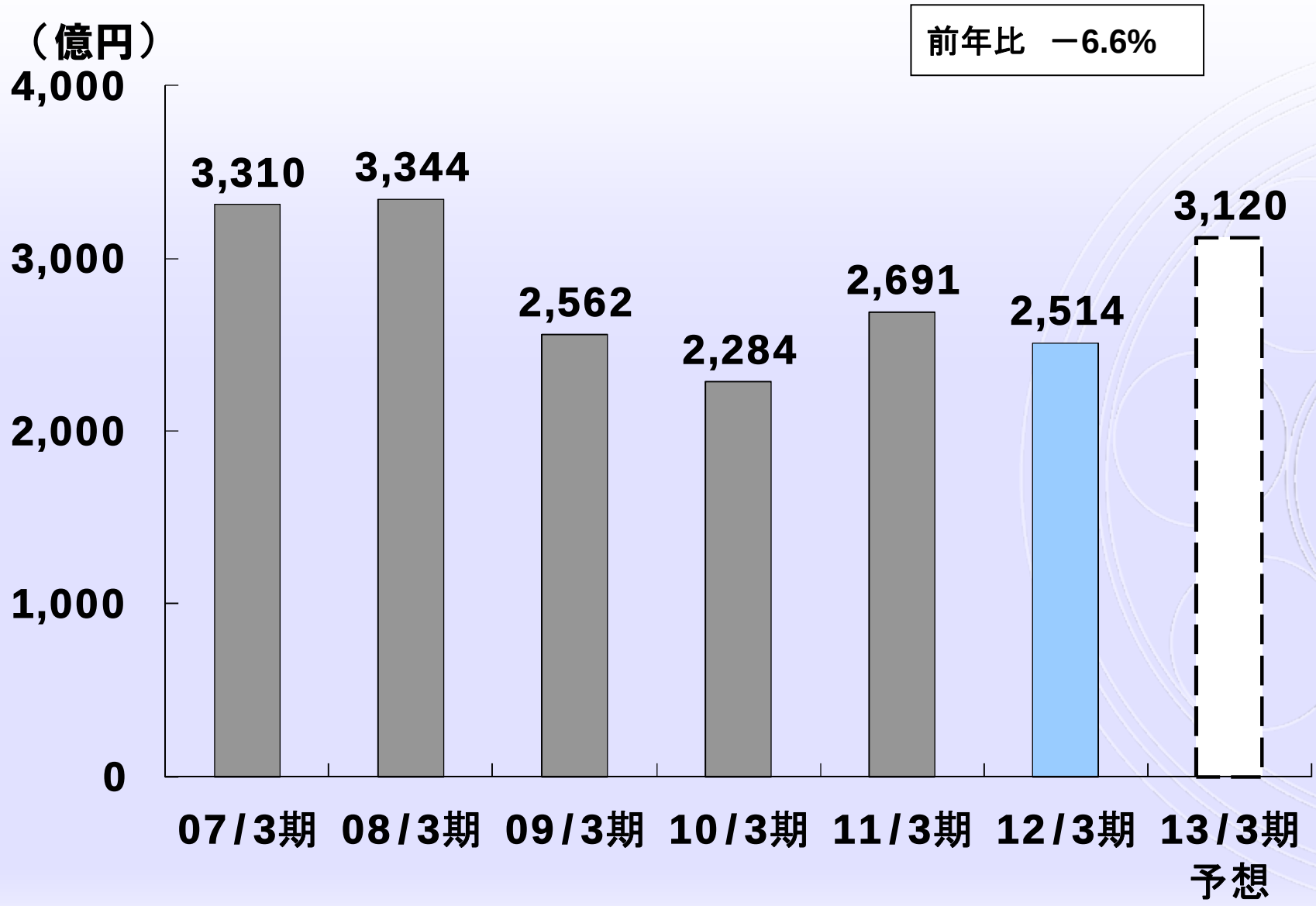
（百万円）	2011年3月期	2012年3月期		前年同期比	前四半期比
	4Q	3Q	4Q	伸び率	伸び率
売上高	63,944	56,716	62,193	-2.7%	+9.7%
営業利益	4,194	850	1,695	-59.6%	+99.4%
経常利益	3,710	323	1,142	-69.2%	3.5倍
四半期純利益	1,816	△3,055	6,208	3.4倍	N.M.
一株当たり四半期純利益（円）	4.75	△8.07	16.40	3.5倍	N.M.

為替レート	11/3期4Q	12/3期3Q	12/3期4Q
US$	81.78円	77.51円	78.27円
ユーロ	110.55円	105.99円	103.28円
タイバーツ	2.67円	2.50円	2.53円
人民元	12.39円	12.16円	12.39円

売上高

年推移

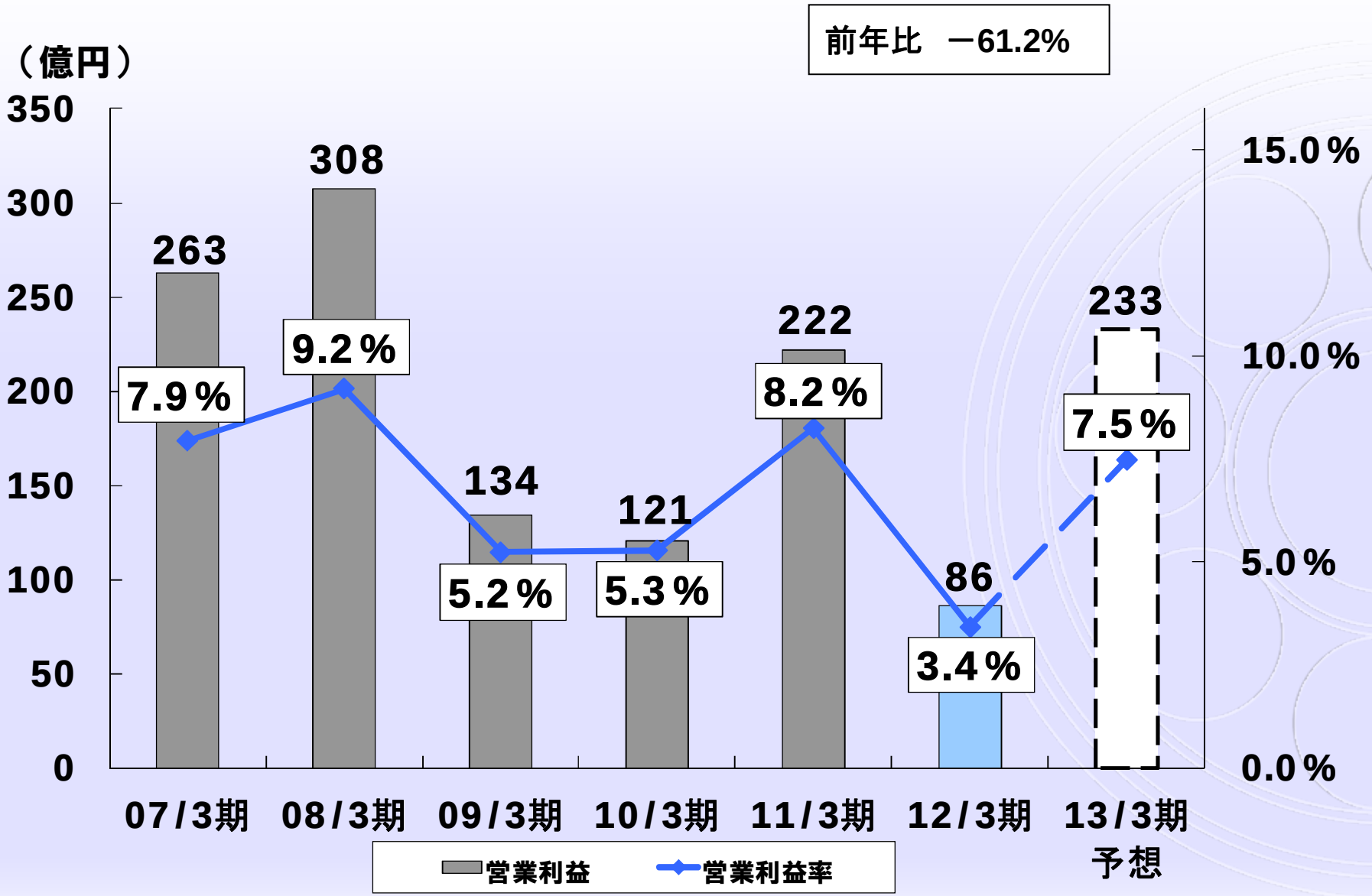
Minebea
Passion to Exceed Precision



営業利益

年推移

Minebea
Passion to Exceed Precision

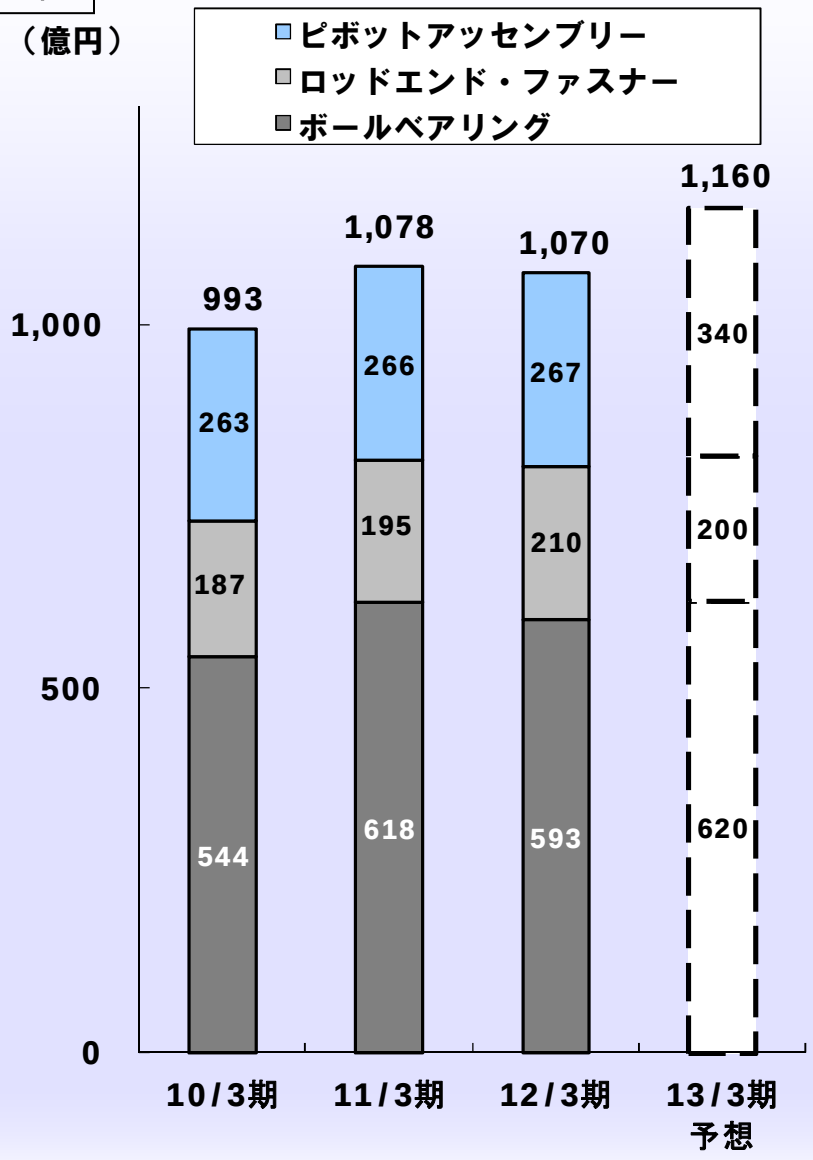


機械加工品事業

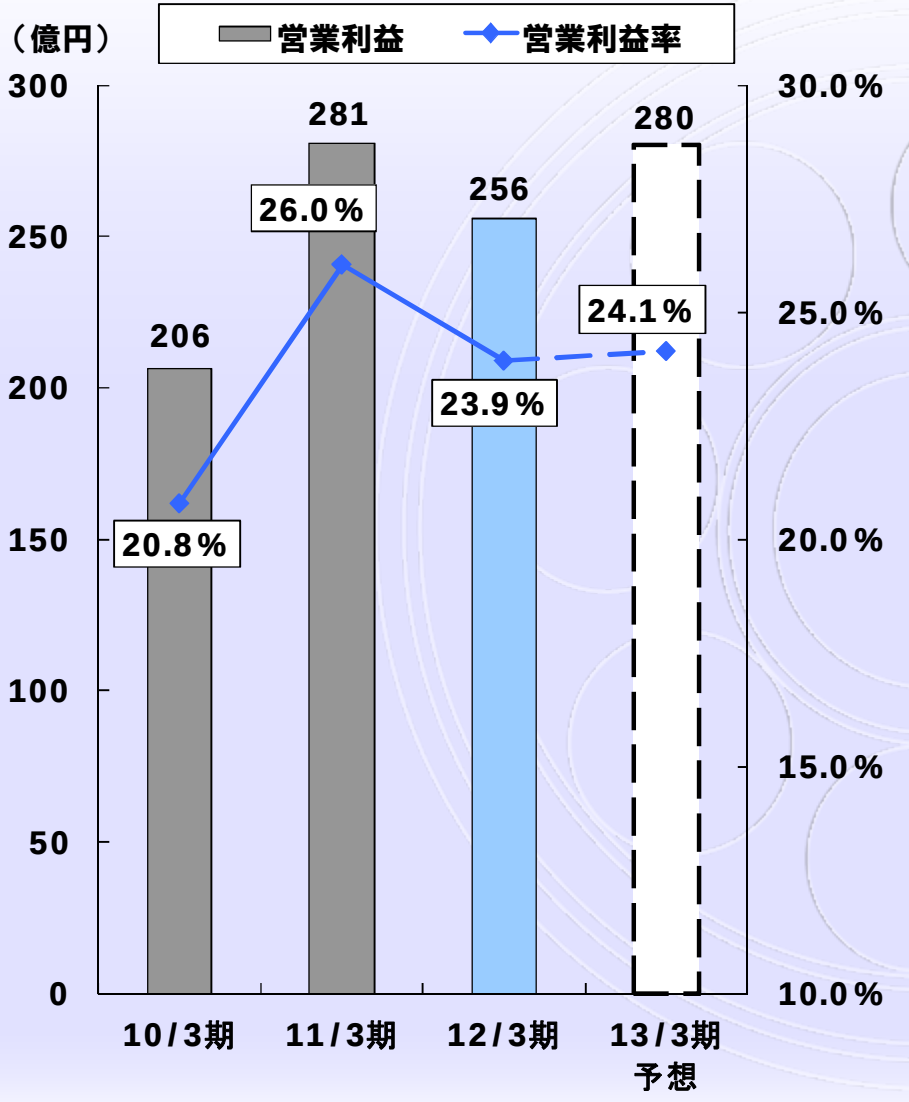
セグメント別　年推移

※新セグメントによる2010年3月期数値は、会計監査人による監査を受けたものではありません。

売上高



営業利益



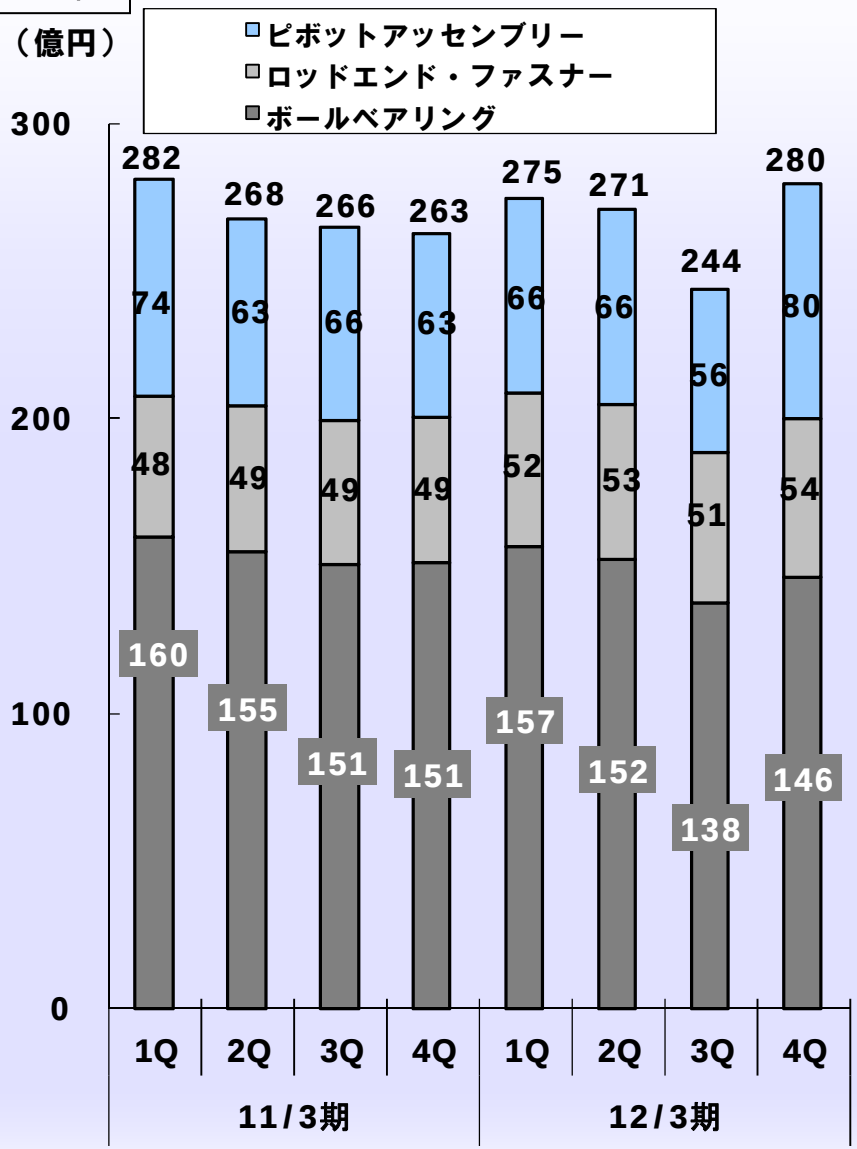
機械加工品事業

セグメント別

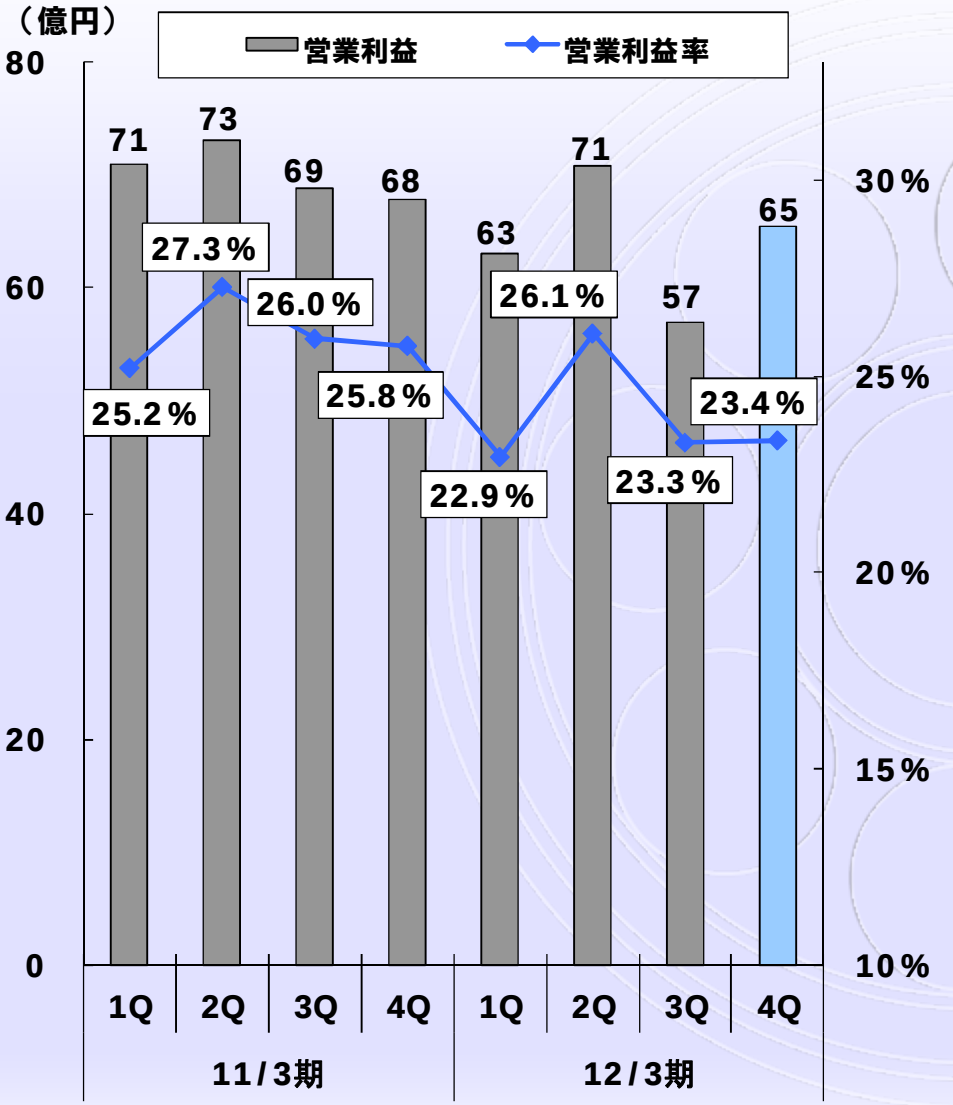
四半期推移

Minebea
Passion to Exceed Precision

売上高



営業利益

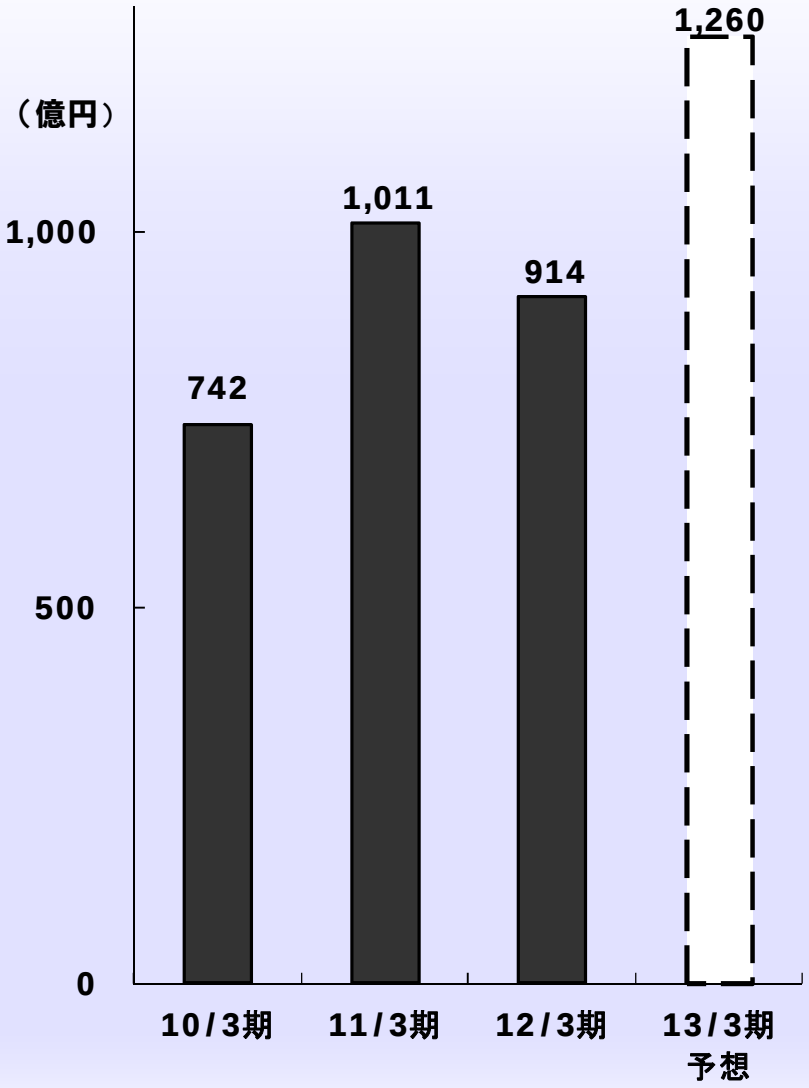


回転機器事業

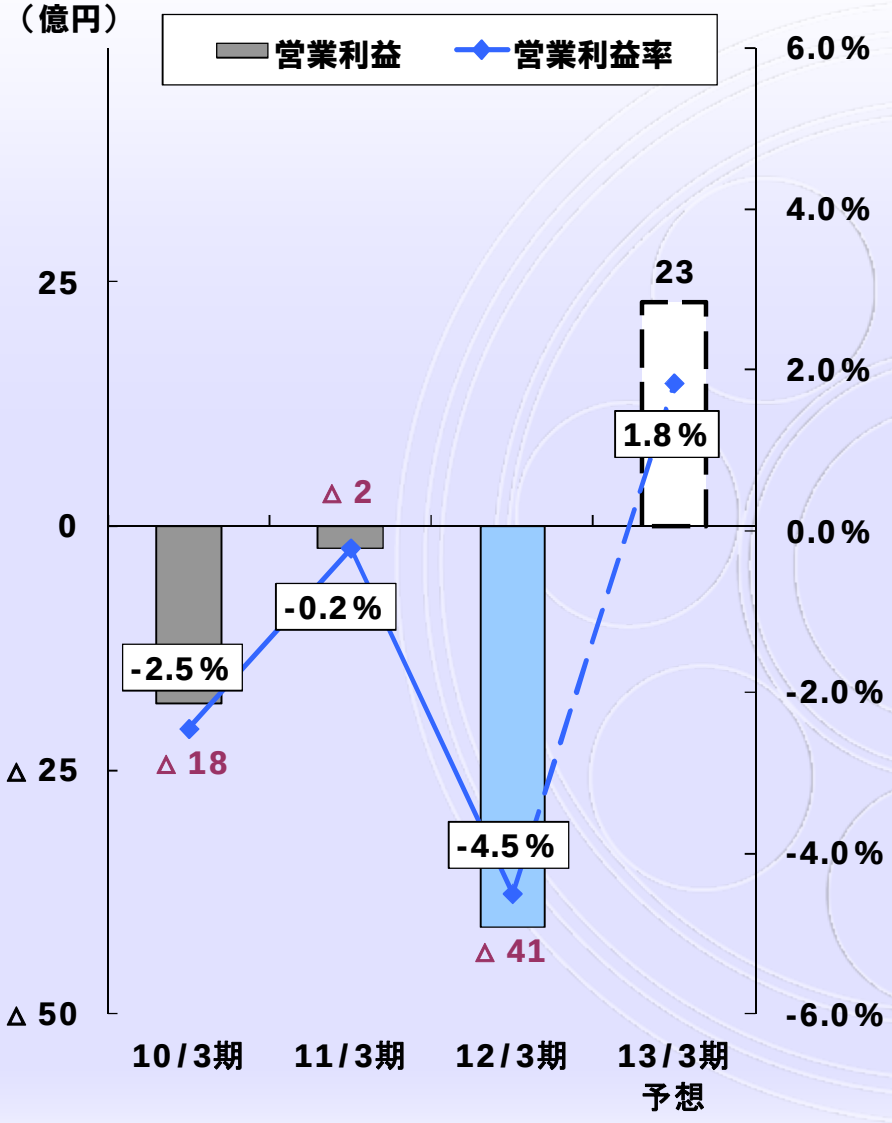
セグメント別　年推移

※新セグメントによる2010年3月期数値は、会計監査人による監査を受けたものではありません。

売上高



営業利益

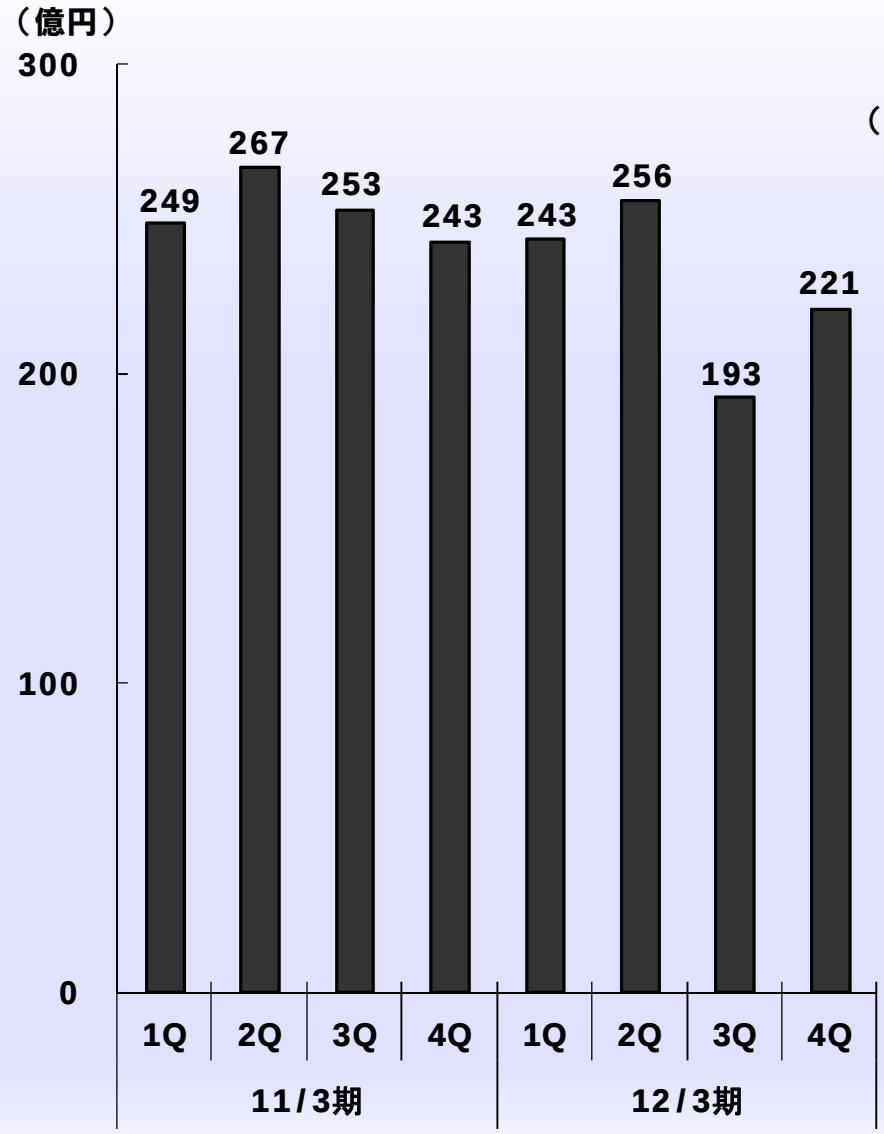


回転機器事業

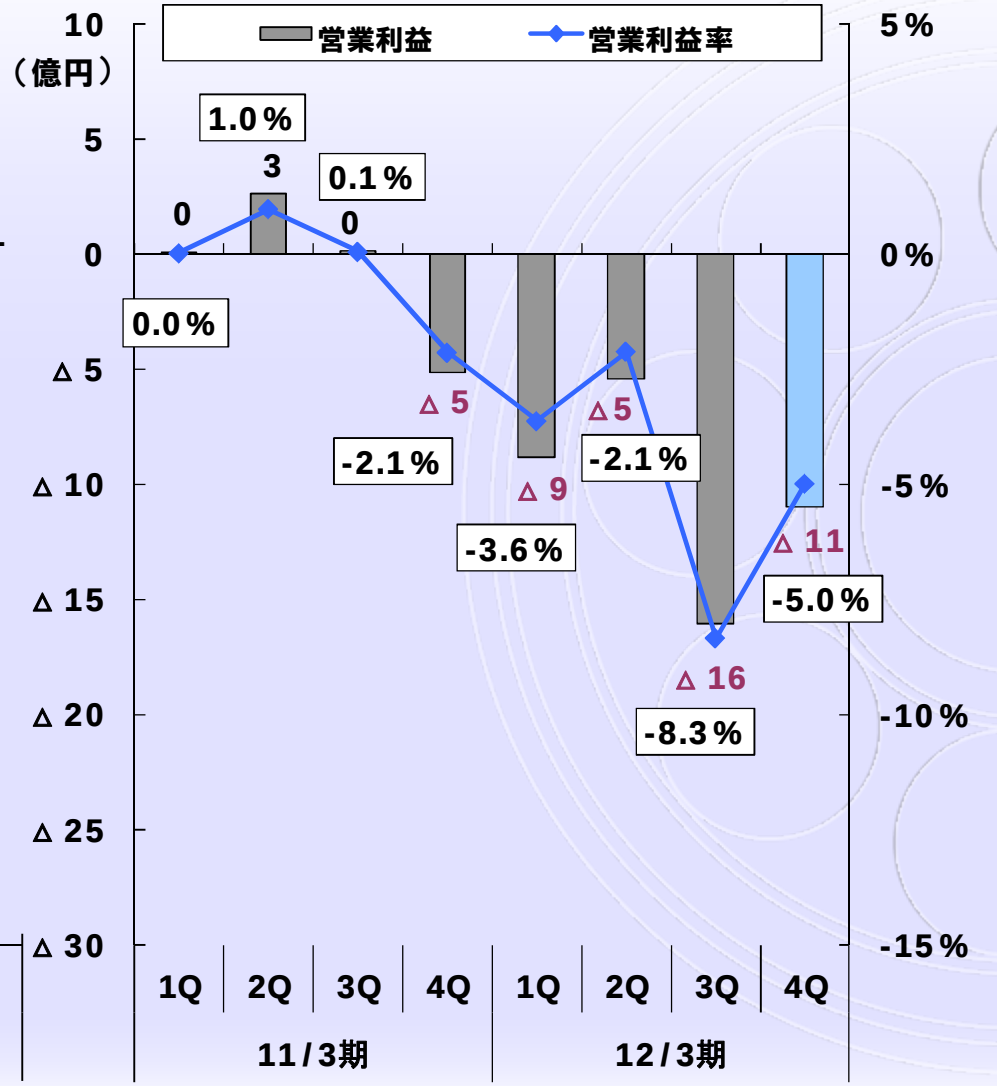
セグメント別　四半期推移

Minebea
Passion to Exceed Precision

売上高



営業利益

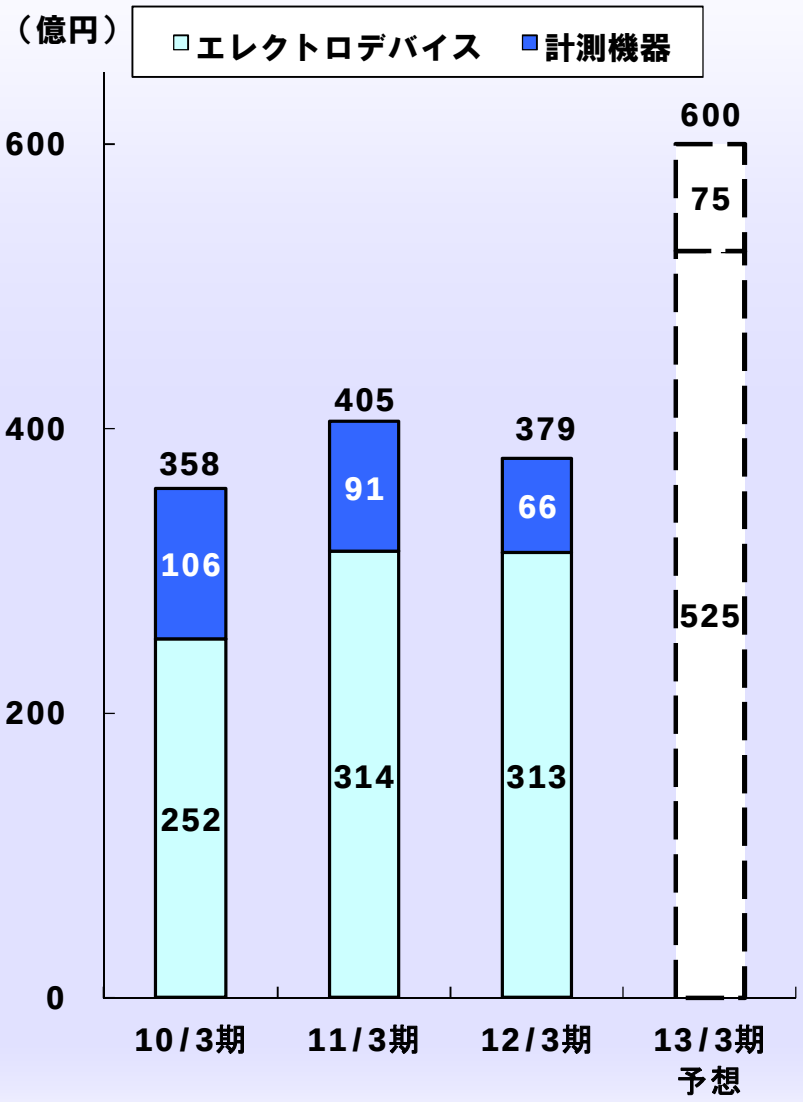


電子機器事業

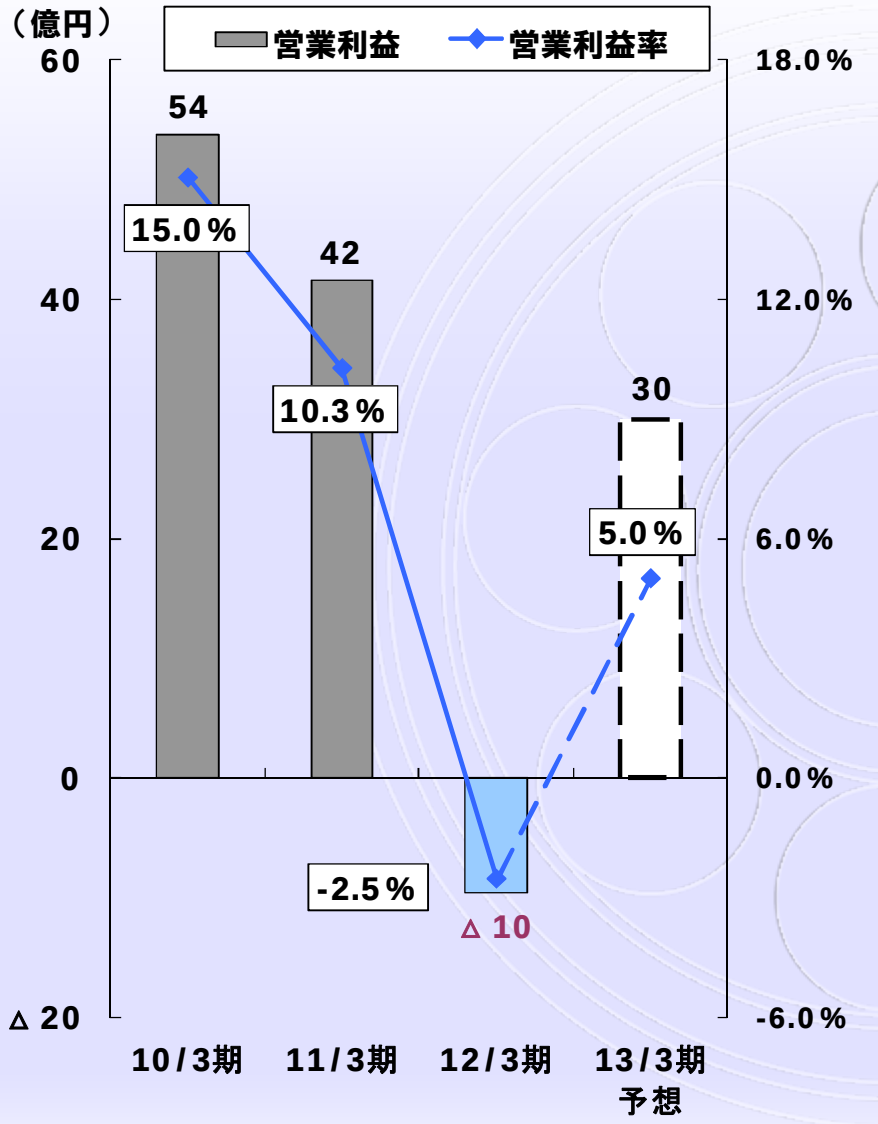
セグメント別　年推移

※新セグメントによる2010年3月期数値は、会計監査人による監査を受けたものではありません。

売上高



営業利益



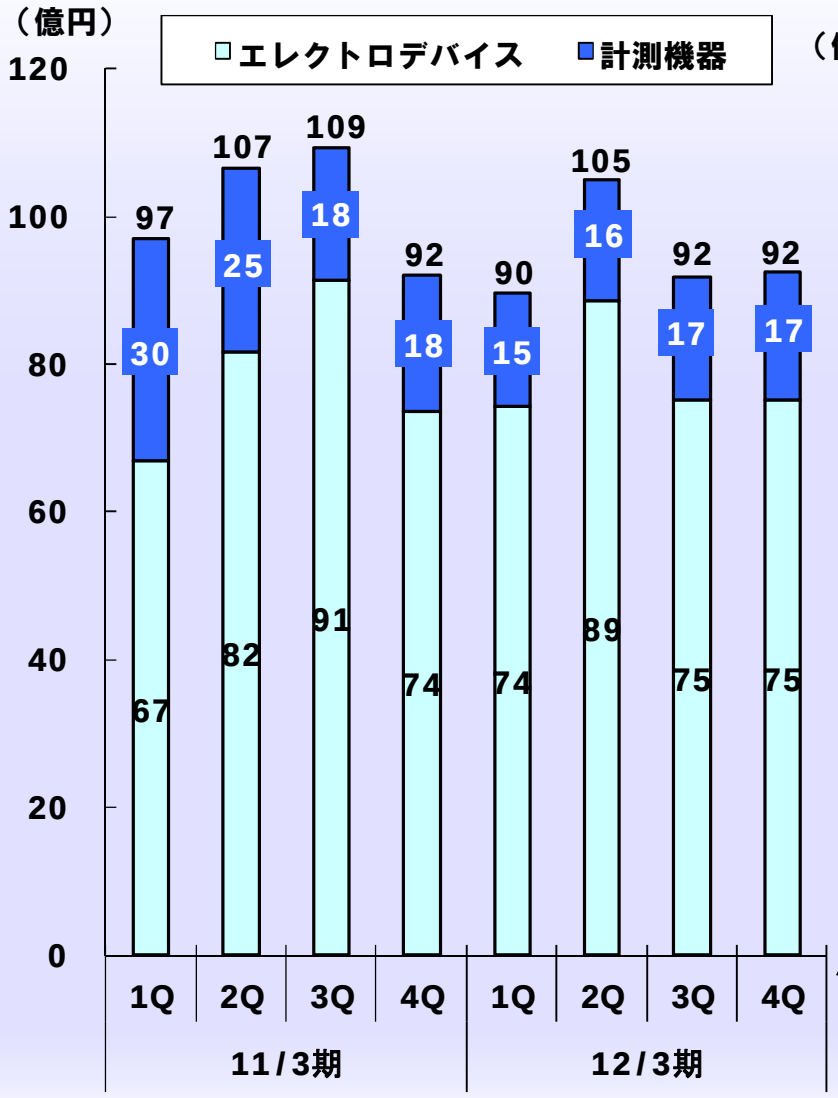
電子機器事業

セグメント別

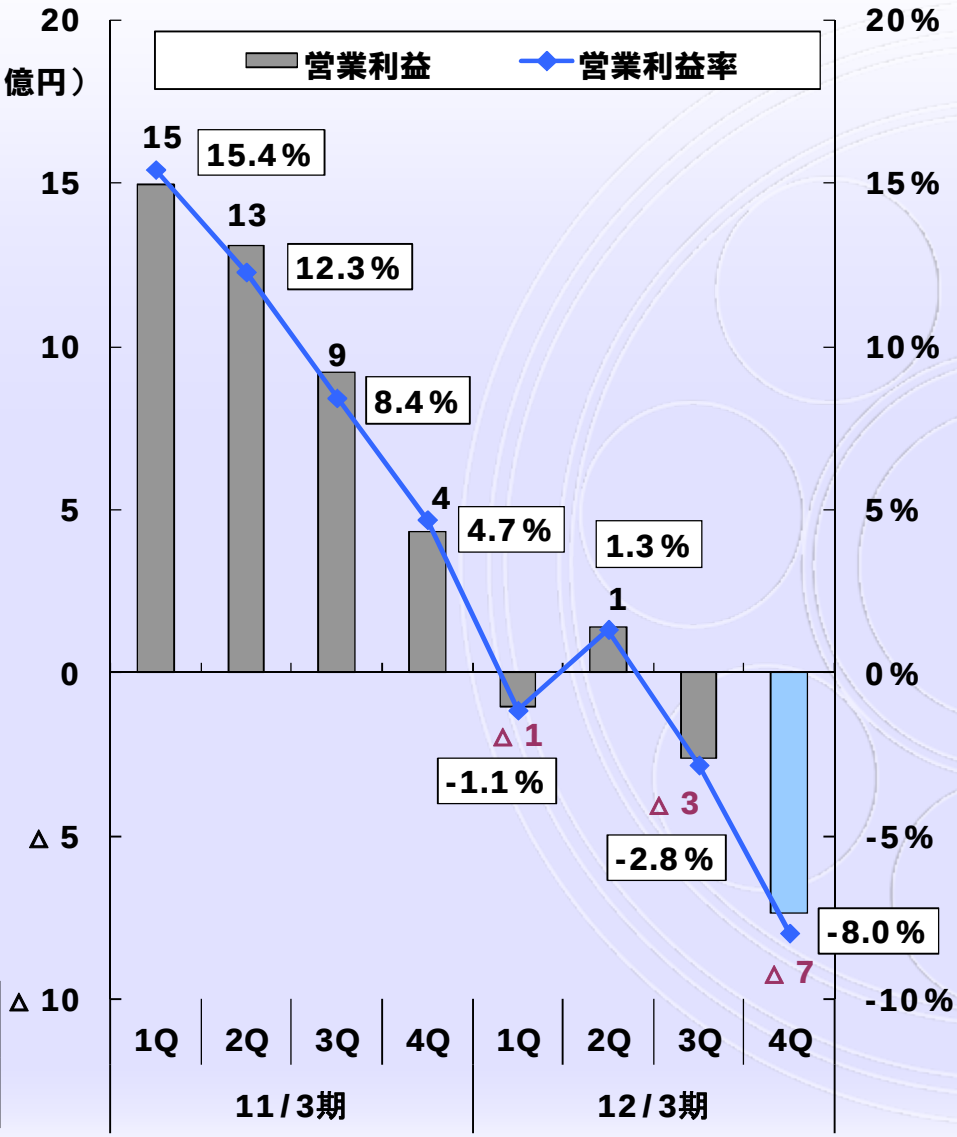
四半期推移

Minebea
Passion to Exceed Precision

売上高



営業利益

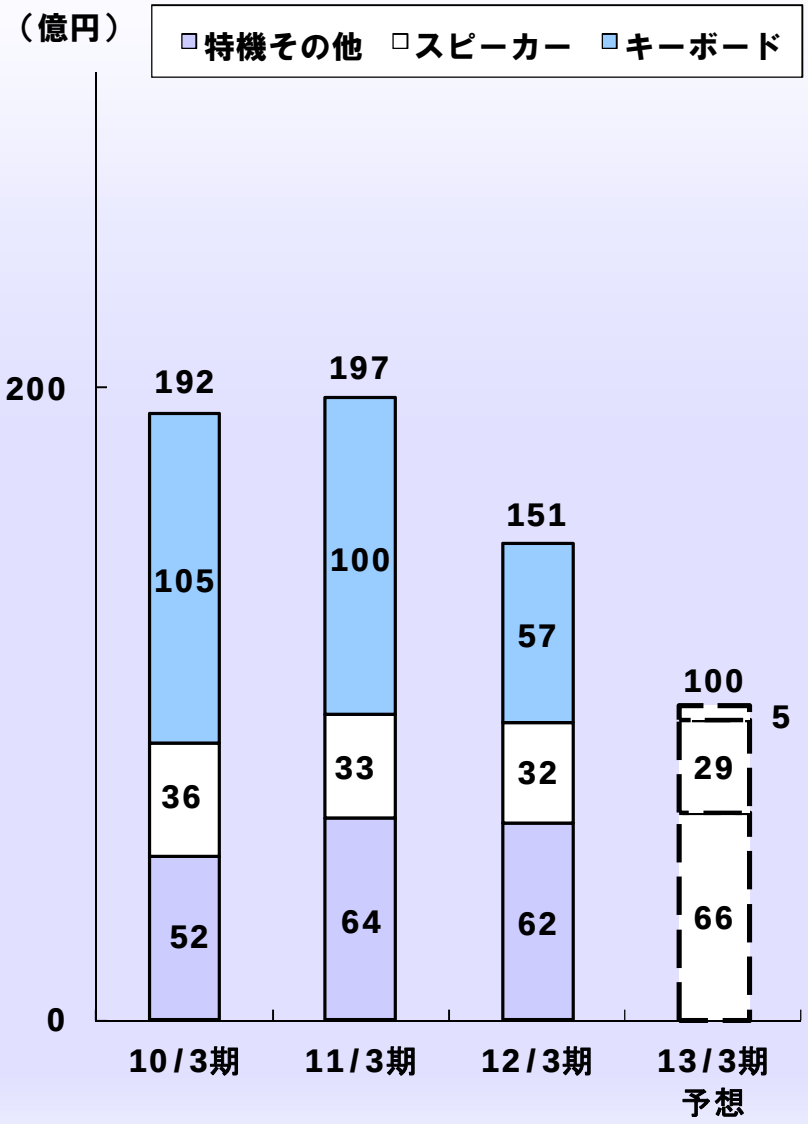


その他事業

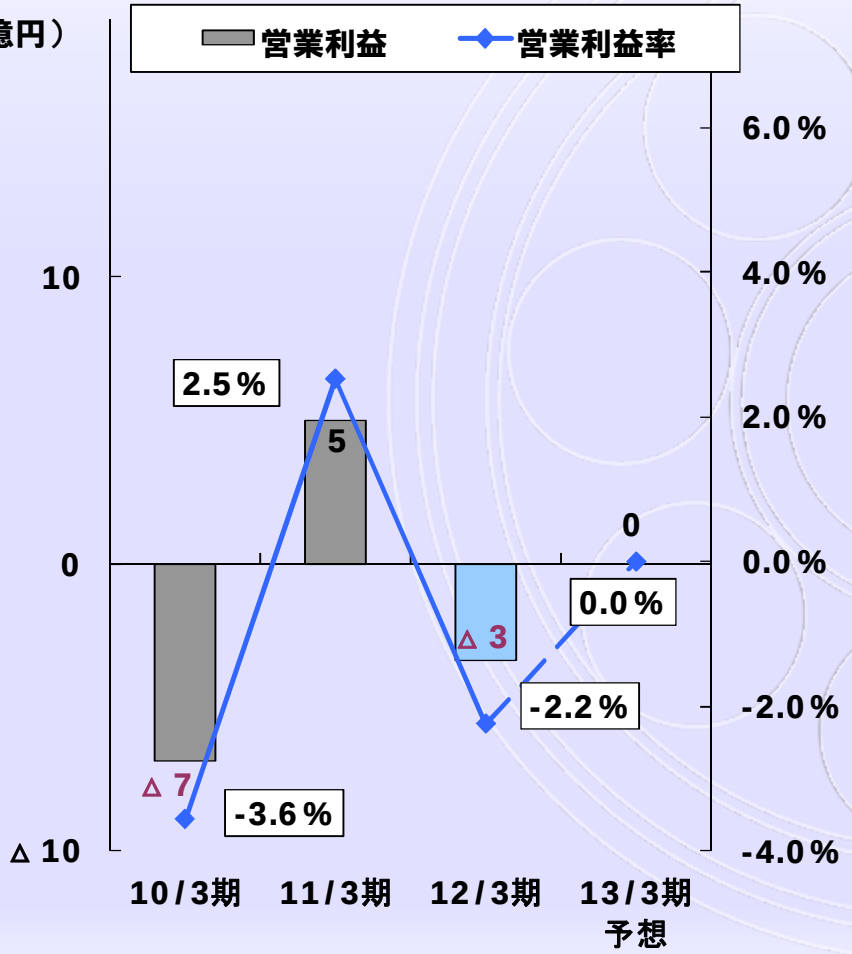
セグメント別　年推移

※新セグメントによる2010年3月期数値は、会計監査人による監査を受けたものではありません。

売上高



営業利益

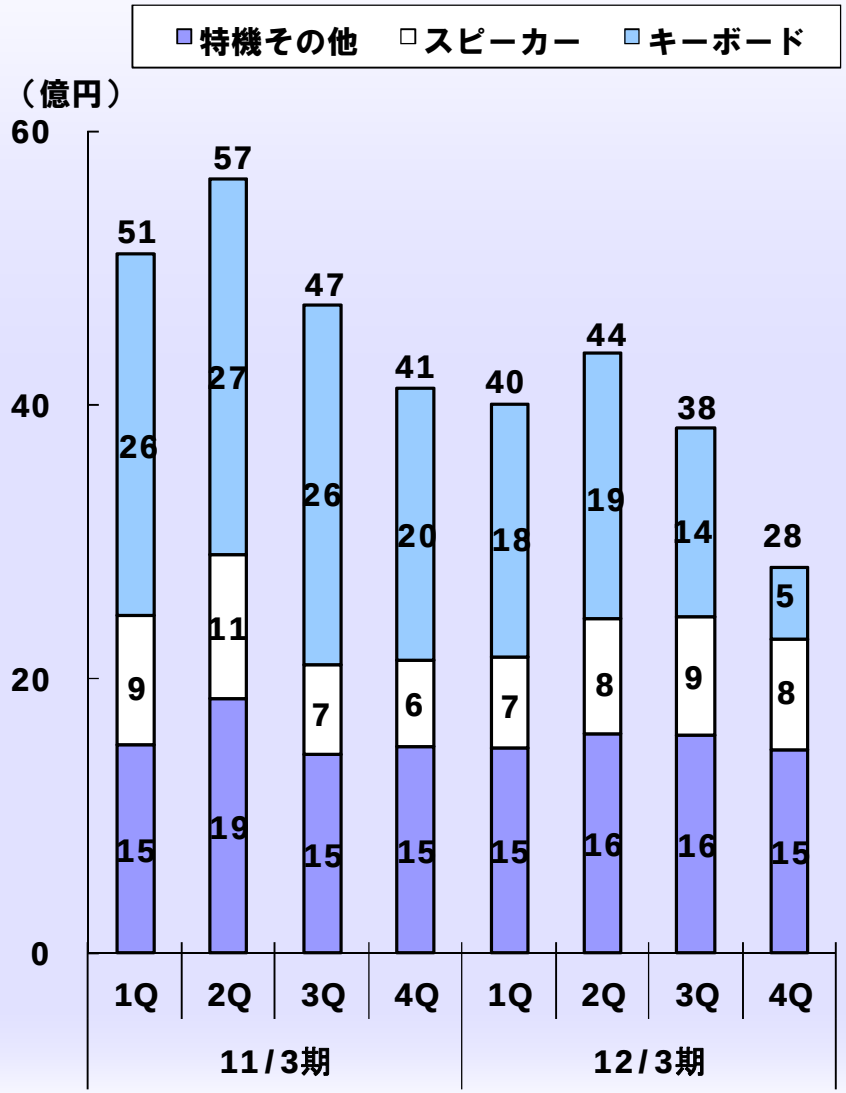


その他事業

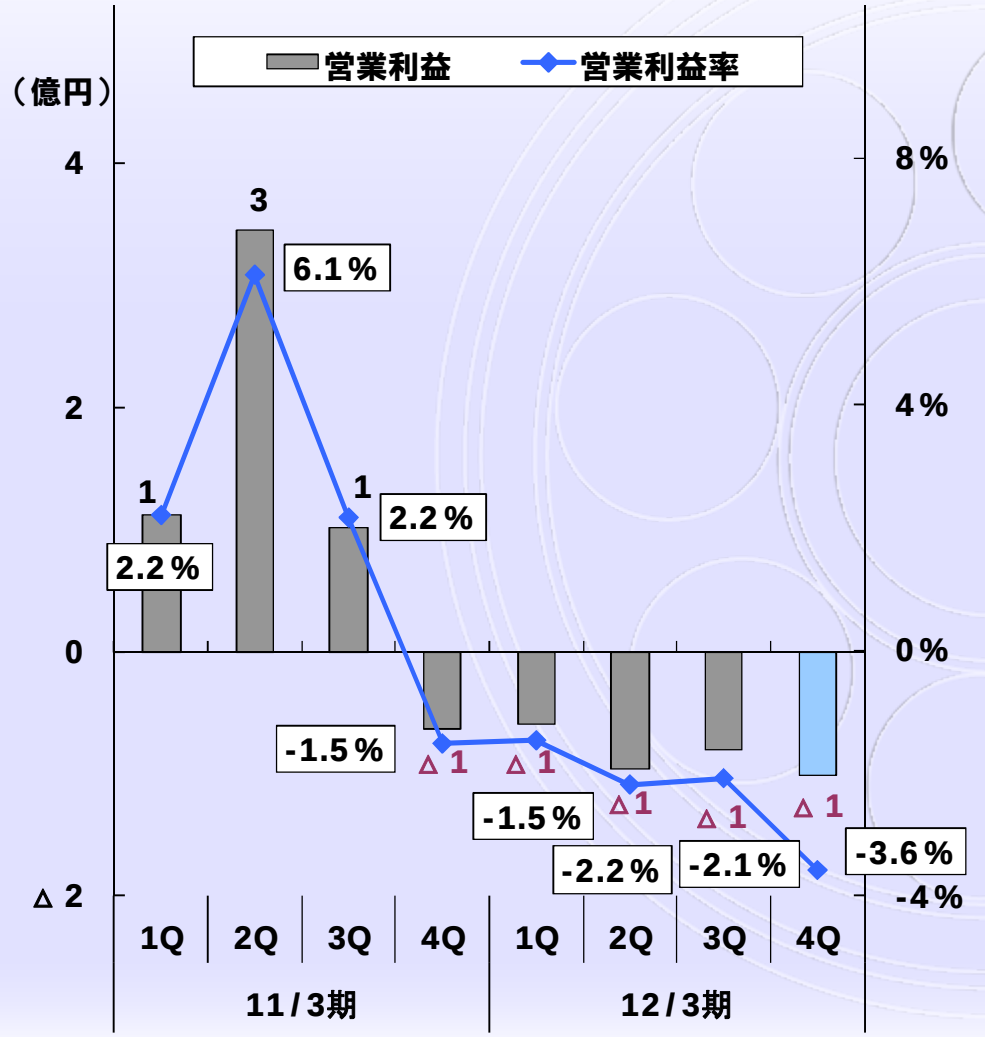
セグメント別

四半期推移

売上高



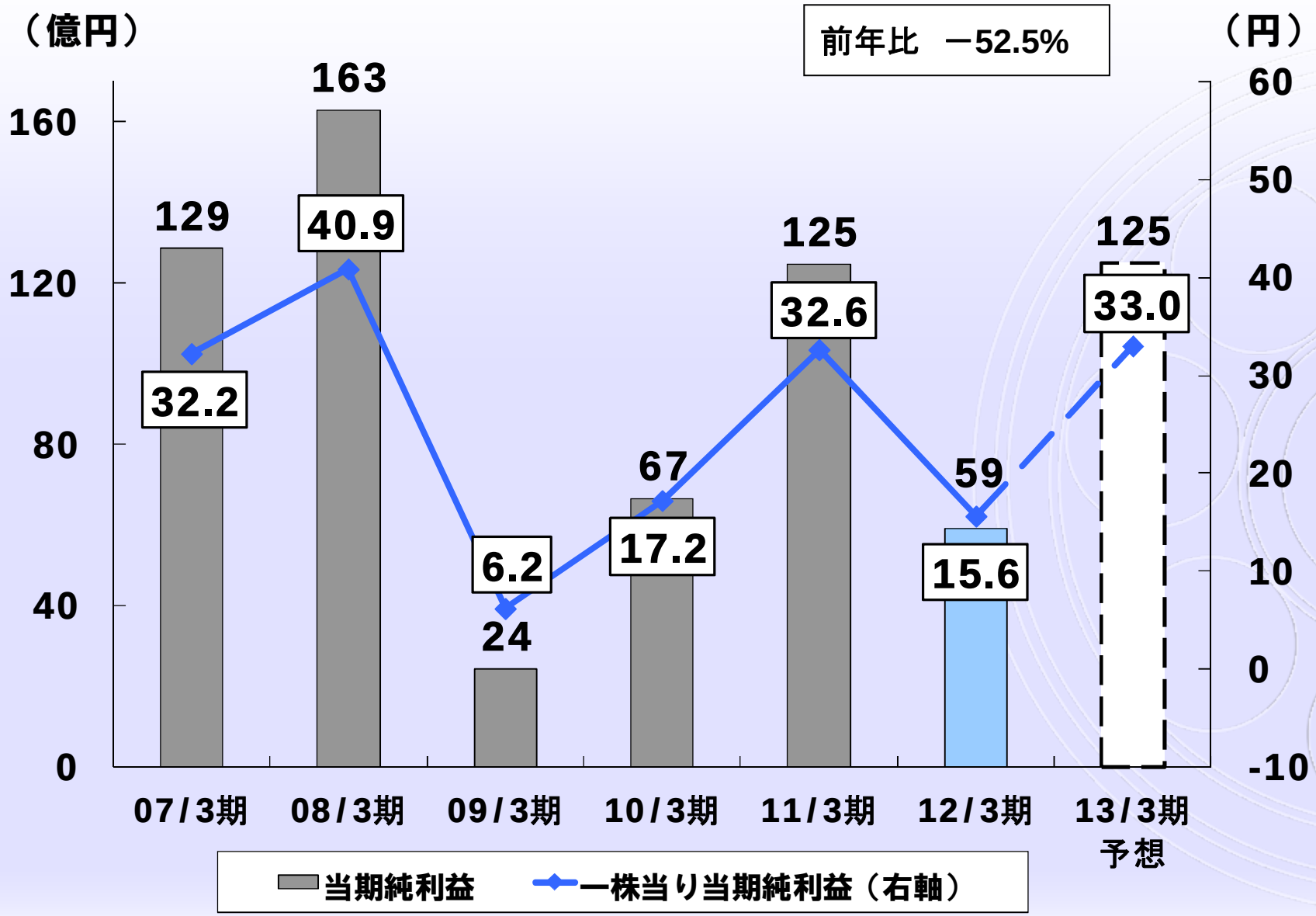
営業利益



純利益

年推移

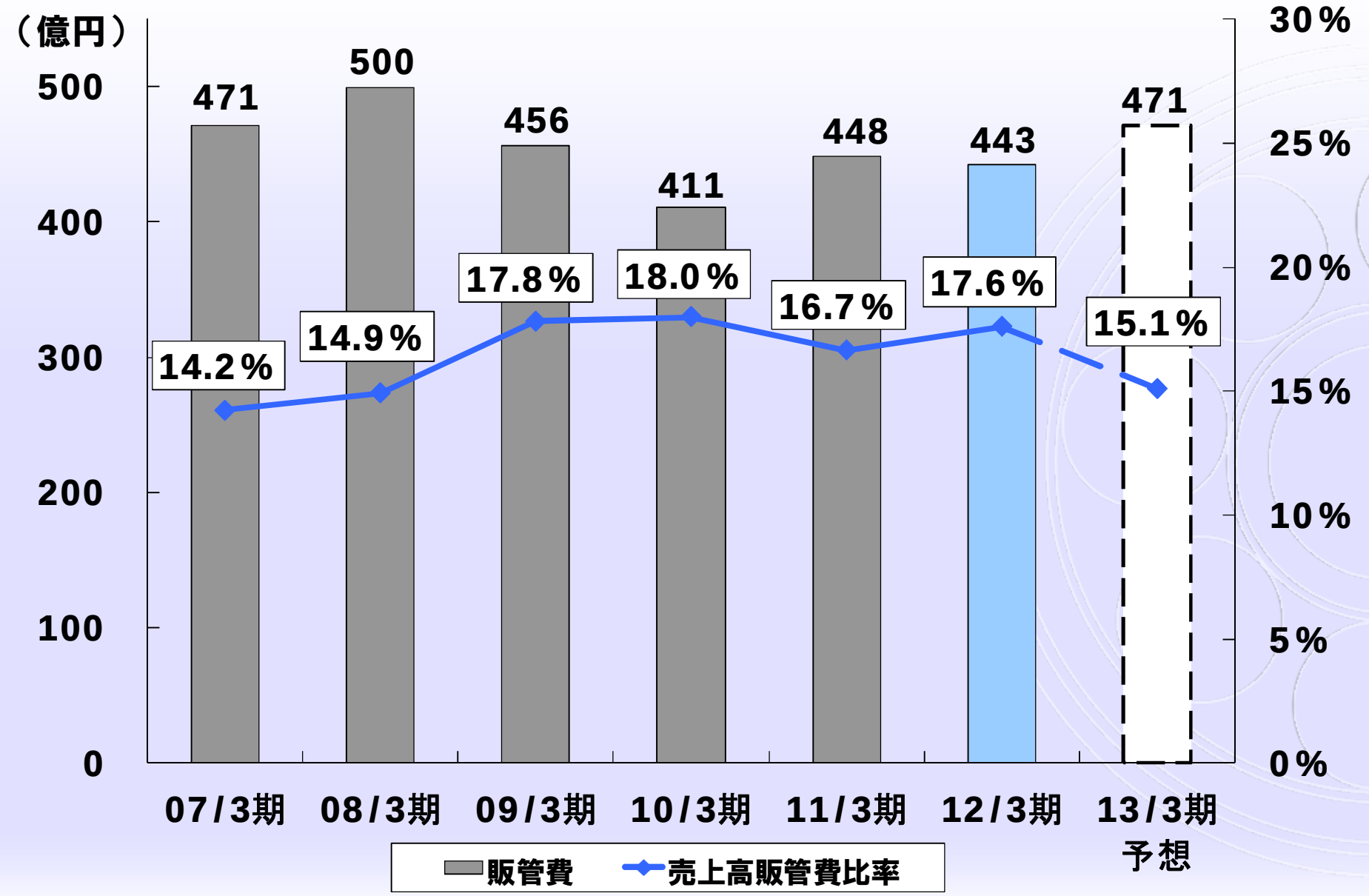
Minebea
Passion to Exceed Precision



販管費

年推移

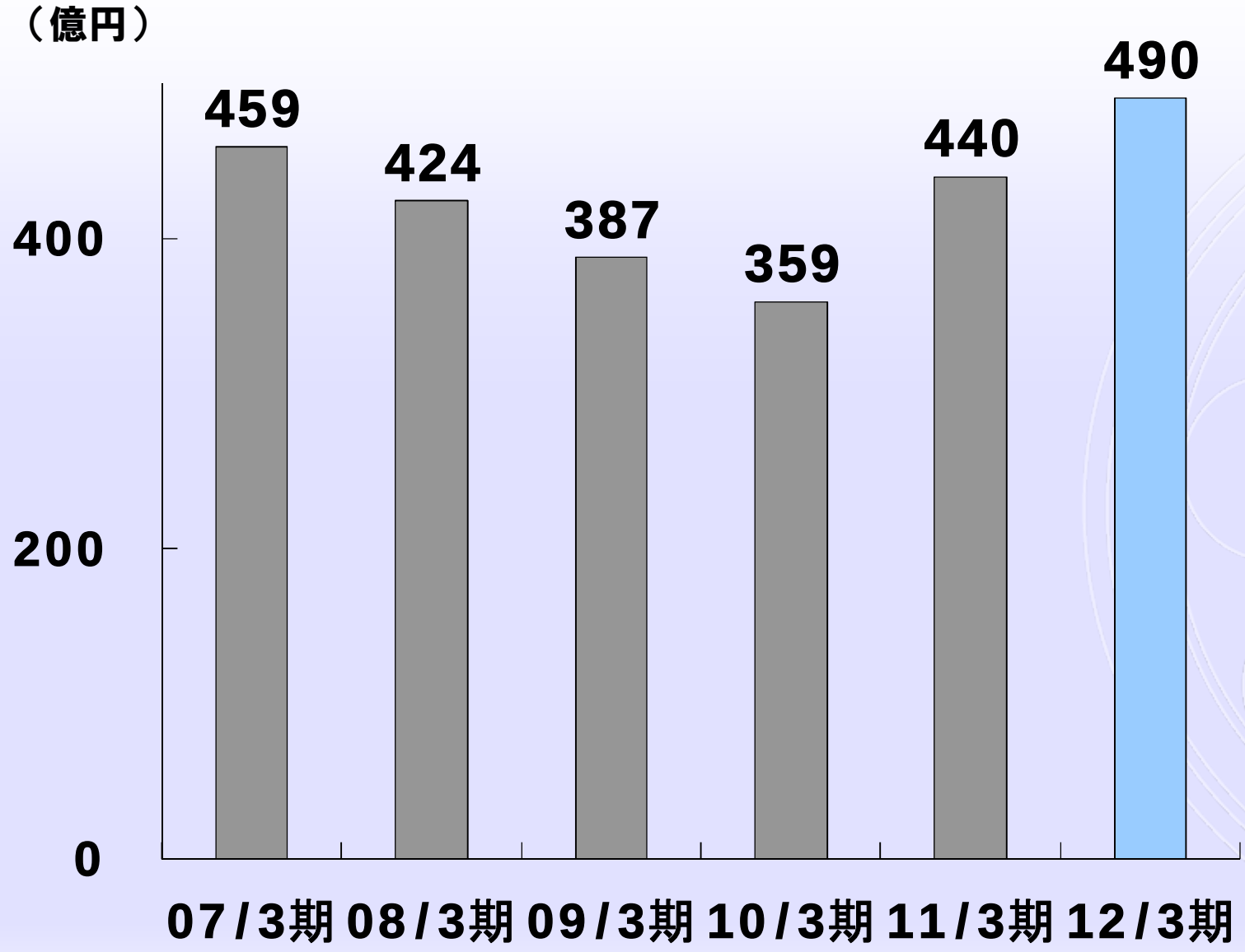
Minebea
Passion to Exceed Precision



たな卸資産

年推移

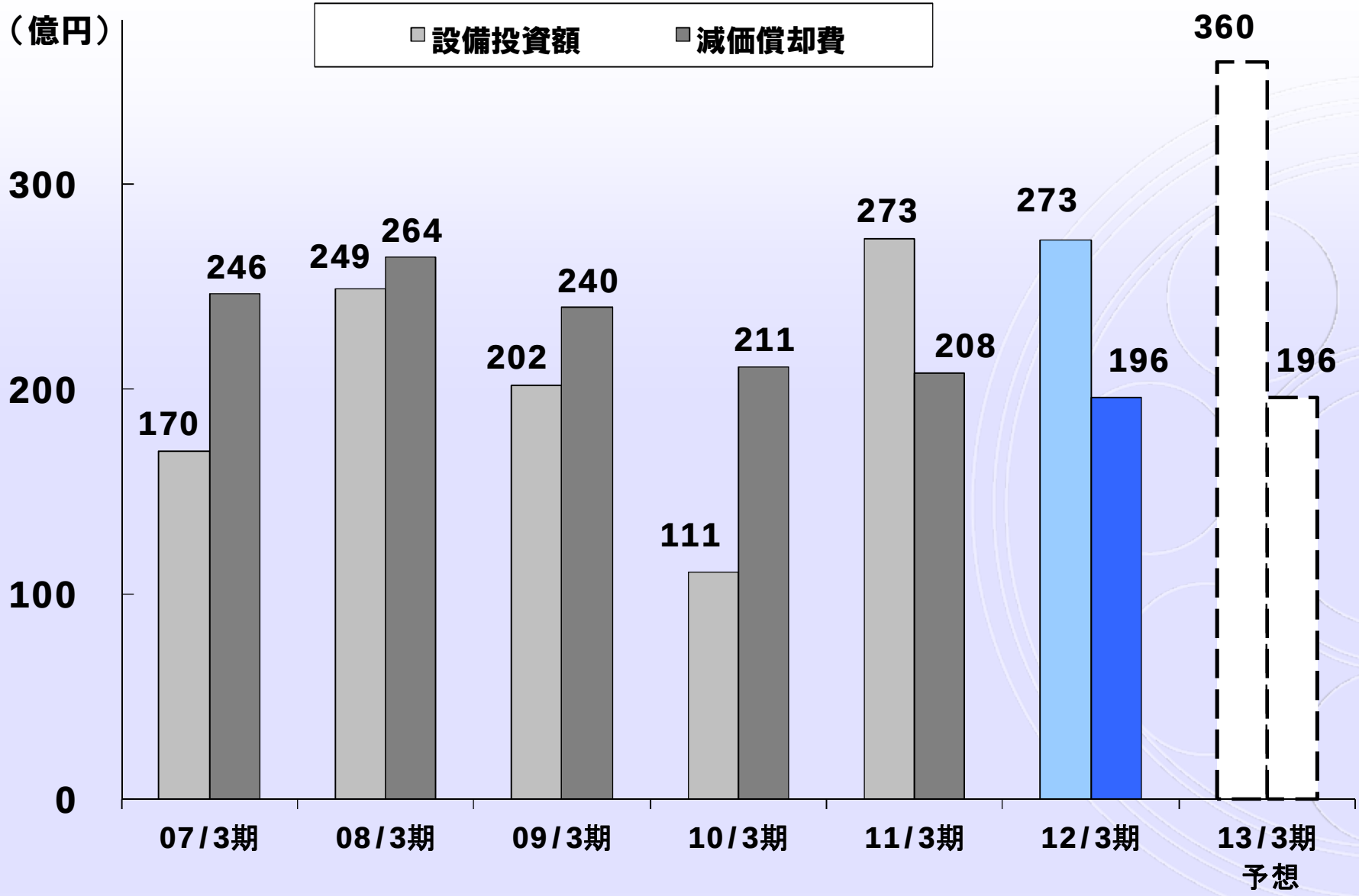
Minebea
Passion to Exceed Precision



設備投資額・減価償却費

年推移

Minebea
Passion to Exceed Precision

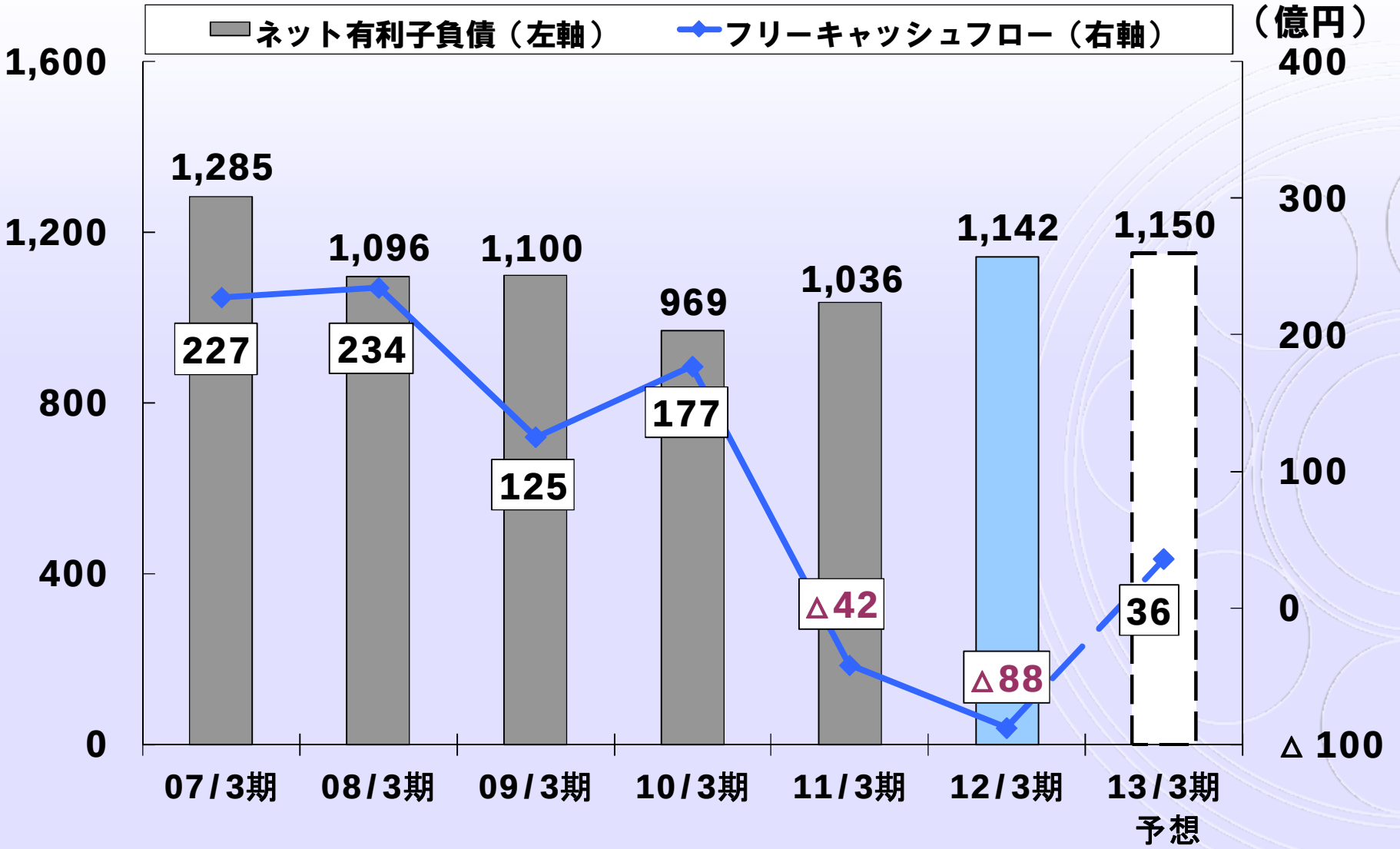


※09/3期よりリース会計処理変更に伴い、ファイナンス・リース資産を計上しています。

ネット有利子負債

年推移

Minebea
Passion to Exceed Precision



ネット有利子負債　：　有利子負債合計－現預金
フリーキャッシュフロー　：　営業活動CF＋投資活動CF

業績予想

Minebea
Passion to Exceed Precision

タイ大洪水などのマイナス要因が無くなることに加えて、
HDD向け部品やLEDバックライトの大きな伸びにより、大幅な業績改善へ

（百万円）	2012年3月期	2013年3月期予想			前年比伸び率
	通期	上半期	下半期	通期	
売上高	251,358	148,100	163,900	312,000	+24.1%
営業利益	8,599	9,400	13,900	23,300	2.7倍
経常利益	6,499	8,200	12,600	20,800	3.2倍
純利益	5,922	5,600	6,900	12,500	2.1倍
一株当たり純利益（円）	15.63	14.78	18.21	32.99	2.1倍

為替レート	12/3期	13/3期想定
US$	79.07円	77.00円
ユーロ	110.20円	103.00円
タイバーツ	2.59円	2.50円
人民元	12.33円	12.20円

セグメント別業績予想

Minebea
Passion to Exceed Precision

（百万円）	2012年3月期	2013年3月期予想			前年比伸び率
	通期	上半期	下半期	通期	
売上高	251,358	148,100	163,900	312,000	+24.1%
機械加工品	107,037	57,300	58,700	116,000	+8.4%
回転機器	91,363	59,900	66,100	126,000	+37.9%
電子機器	37,887	26,300	33,700	60,000	+58.4%
その他	15,068	4,600	5,400	10,000	-33.6%
営業利益	8,599	9,400	13,900	23,300	2.7倍
機械加工品	25,611	13,800	14,200	28,000	+9.3%
回転機器	△4,118	20	2,280	2,300	N.M.
電子機器	△959	580	2,420	3,000	N.M.
その他	△338	0	0	0	N.M.
調整額	△11,595	△5,000	△5,000	△10,000	-13.8%

Minebea
Passion to Exceed Precision

経営方針と事業戦略について

2012年 5月10日
代表取締役 社長執行役員　貝沼　由久

前期の状況と今期の動向

60周年⇒災害対応の年

・東日本大震災、タイ大洪水に加えて、超円高、レアアース高騰などの外部マイナス要因に対し、全社一丸となっての対応を行った

タイ大洪水で被災したスピンドルモータ部品工場の復旧

・ナワナコン工場（機械加工部品製造）は、4月後半に完全復旧

・ロジャナ工場（ベースプレート製造）は、6月には完全復旧へ

販売回復

・タイ大洪水後の販売は、ほぼ想定通り

・タブレットPC用LEDバックライトでは立ち上げが遅れたものの、今年4月から量産開始

マクロ経済動向

・OA機器、自動車を中心に、現在、生産は回復基調

・今後は、中国の成長率は鈍化するも、米国景気は回復基調で、全般的にはほぼ想定通り。ただし、欧州財政危機悪化の懸念は拭えず

相対株価パーフォーマンス



Minebea
Passion to Exceed Precision

新中期事業計画の戦略

新中期事業計画業績目標修正（2013～15年3月期）

Minebea
Passion to Exceed Precision

■激変する
ビジネス環境に対応

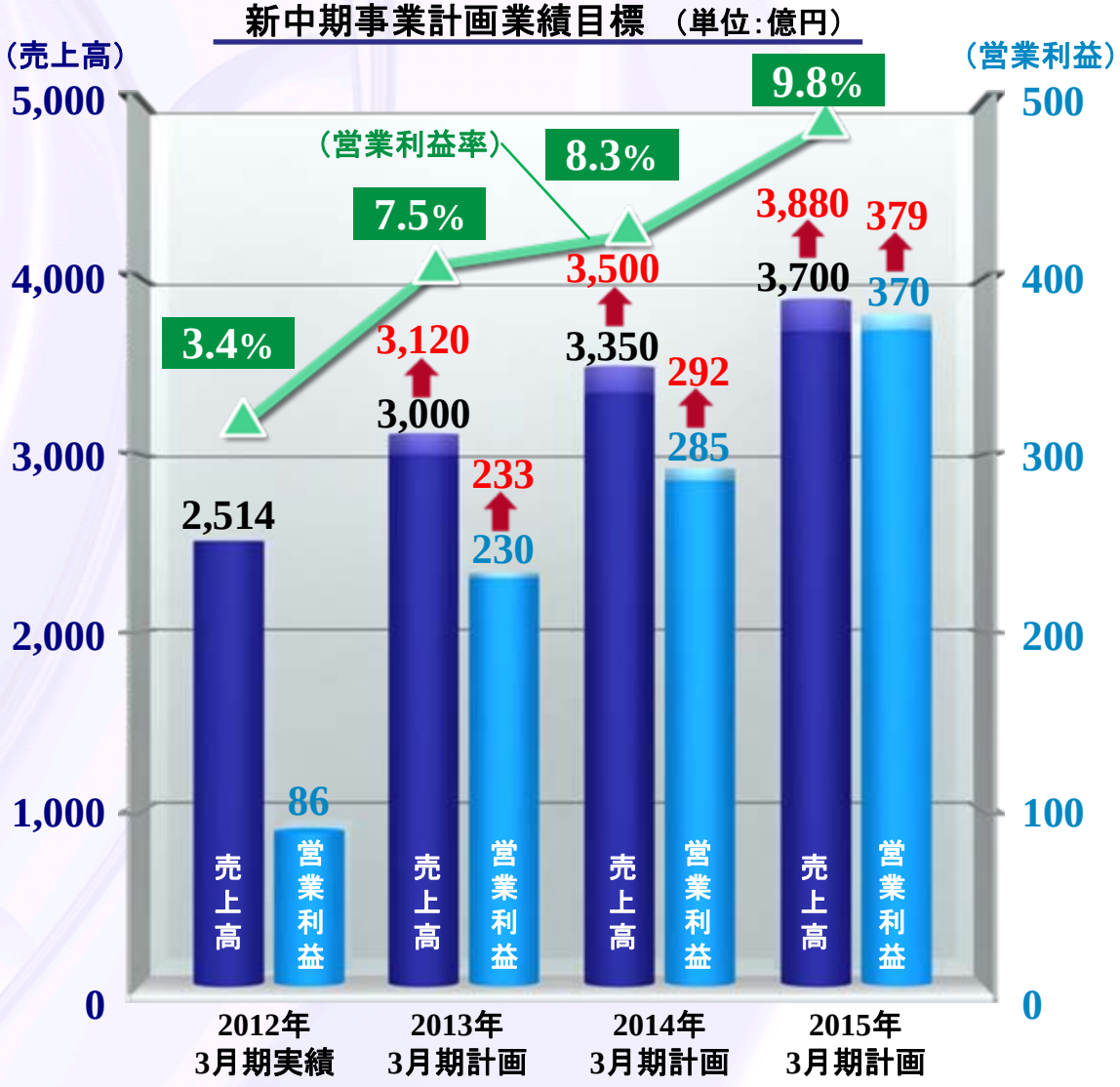
高収益の機械加工品事業の
拡大に注力

■ LEDバックライトは
収益拡大

スマートフォン、タブレットPC
向け販売急拡大

■モーター事業は
収益貢献へ

–M&Aによる更なる拡大–
各買収決定後、
中期事業計画に逐次反映予定
（Moatech社の株式取得を織り込み）



為替前提は据え置き　77円/US$, 103円/ユーロ, 2.5円/バーツ, 12.2円/人民元

機械加工品事業セグメント

■ピボットのシェアアップ

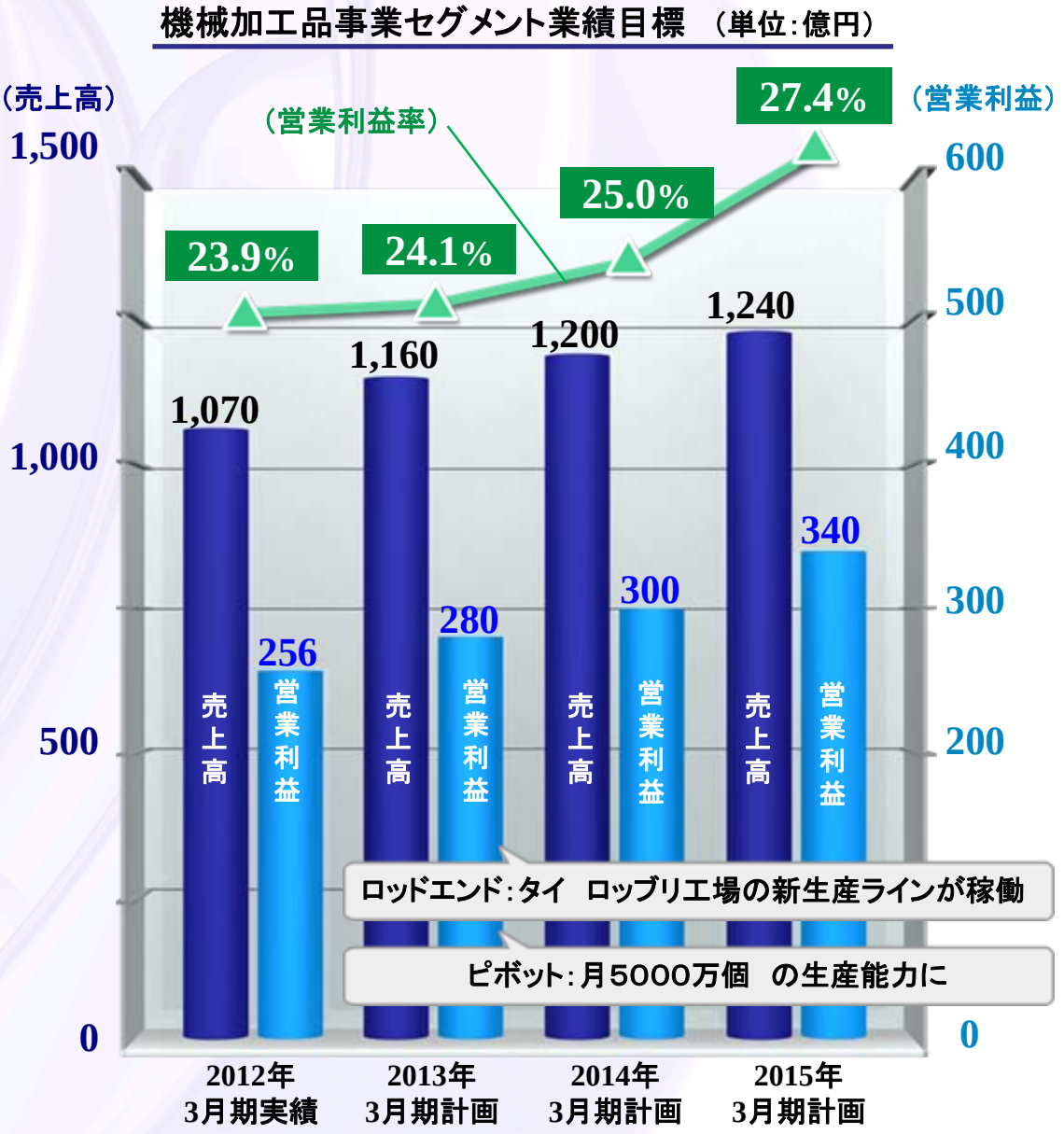
ピボット向けボールベアリング月１億個、ピボット月5000万個へ拡大

■ボールベアリング生産能力拡大

市場の着実な成長と新市場への参入

■タイでのロッドエンド生産能力増強

拡大する航空機市場



ピボットの市場シェア急上昇

・市場シェア急上昇

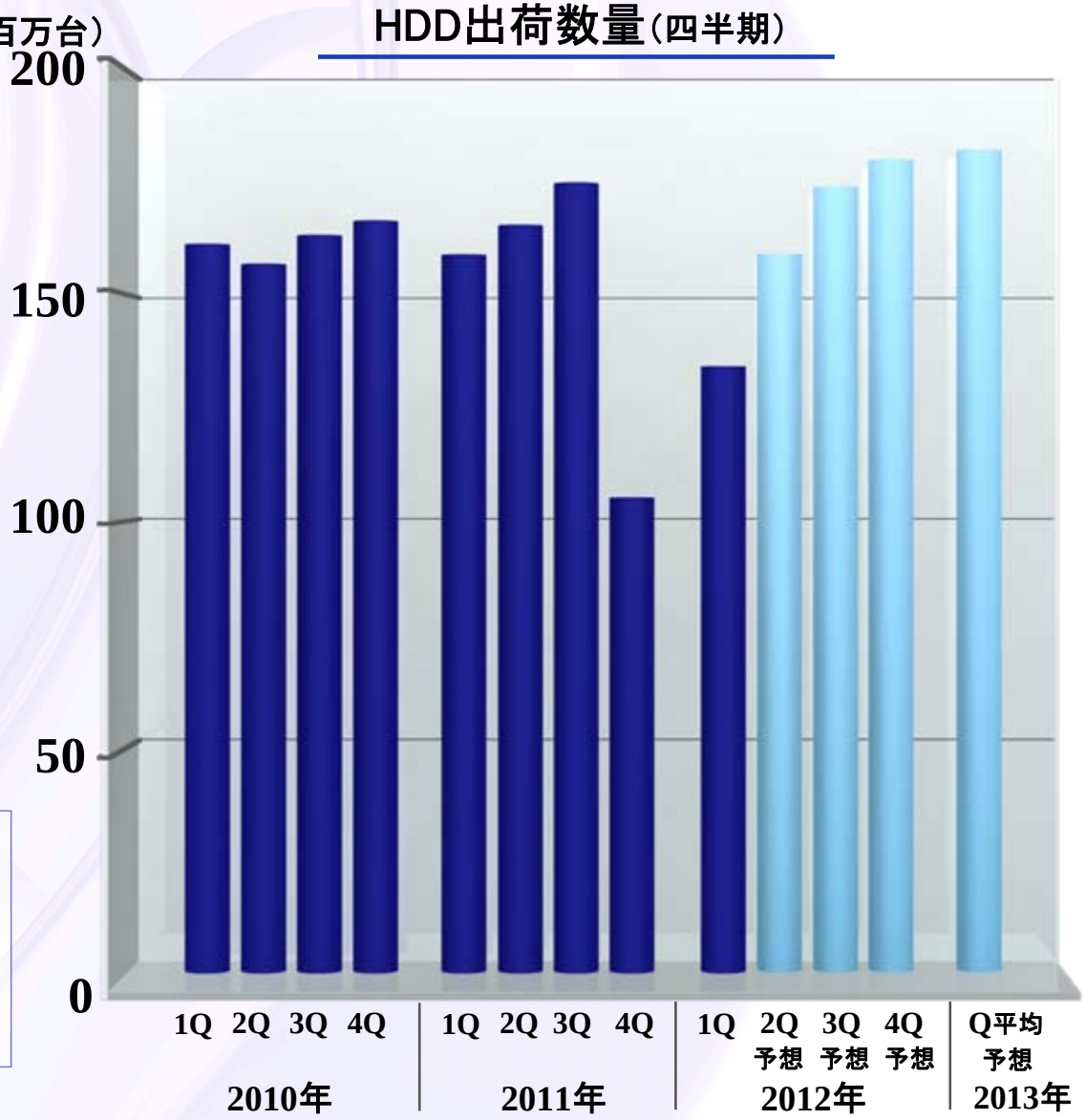
昨年10月のタイ大洪水で、
競合1社（市場シェア2割）が被災し
生産不能となって以降、当社シェア
がそれまでの6割から8割へ増加

・HDD市場は復旧へ

業界全体のHDD生産量は未だ
タイ大洪水前の 7～ 8 割だが、
生産能力の復旧とともに
過去最高水準へ

・生産能力増強

ピボットの安定供給に向け、
月産5千万個体制へ生産能力を増強

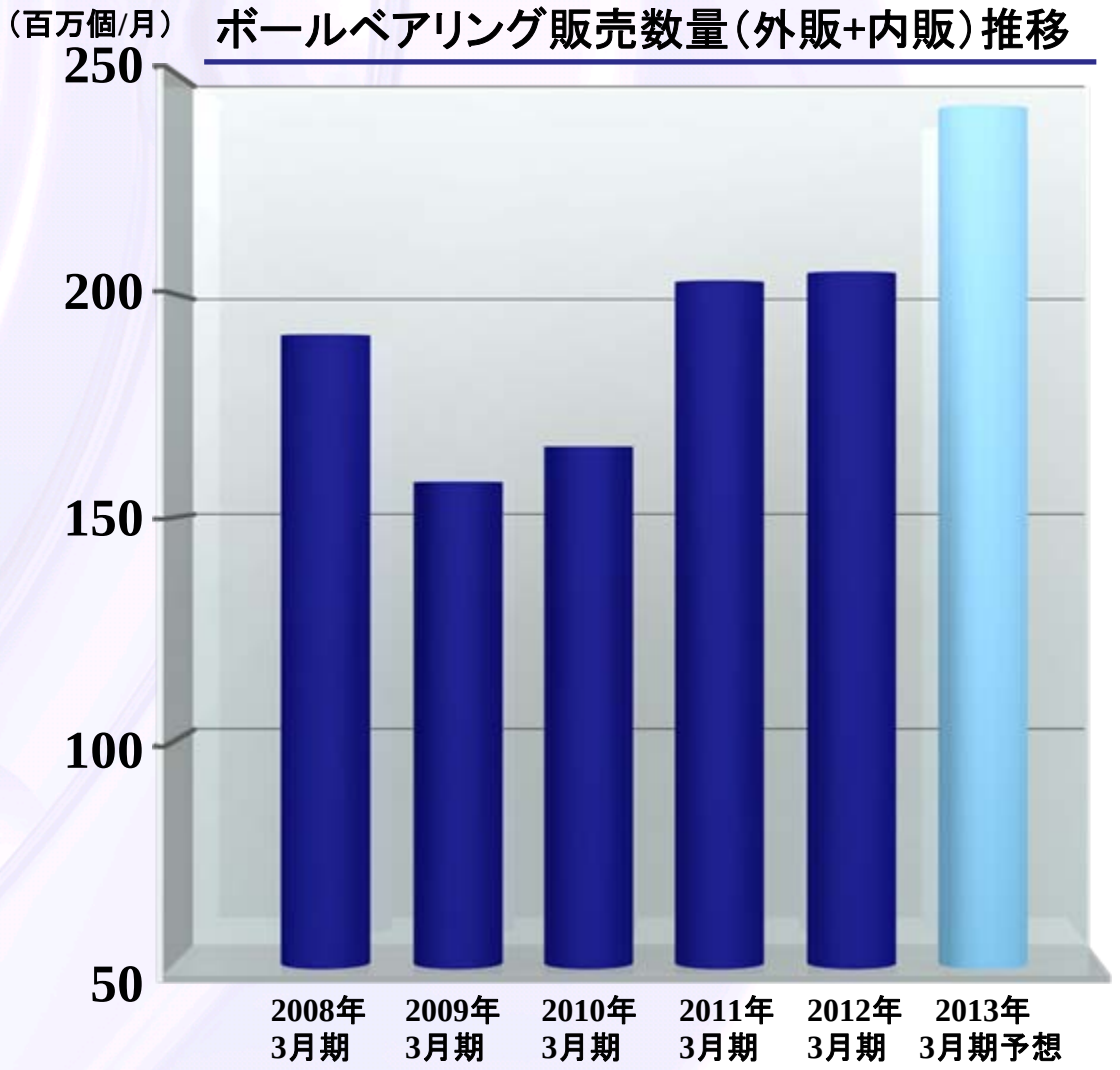


（出所：TSR〔2012年2月〕）

ボールベアリング販売は着実に増加

世界経済の着実な拡大と共にボールベアリング需要は拡大中

- バンパイン新工場でのピボット向け増産
- 販売拠点強化による新興国需要の取込み
- 新市場（低価格量産品と中径サイズ）への参入



航空機用ベアリングの受注好調

航空機受注が増加し、
中期的に市場は拡大中

ボーイング787生産も
拡大局面に入った

・製品範囲の拡大に取り組む
・製造コスト引下げに向け、
タイ・ロッブリ工場の生産能力を拡張

ボーイング・エアバス民間航空機出荷機数推移



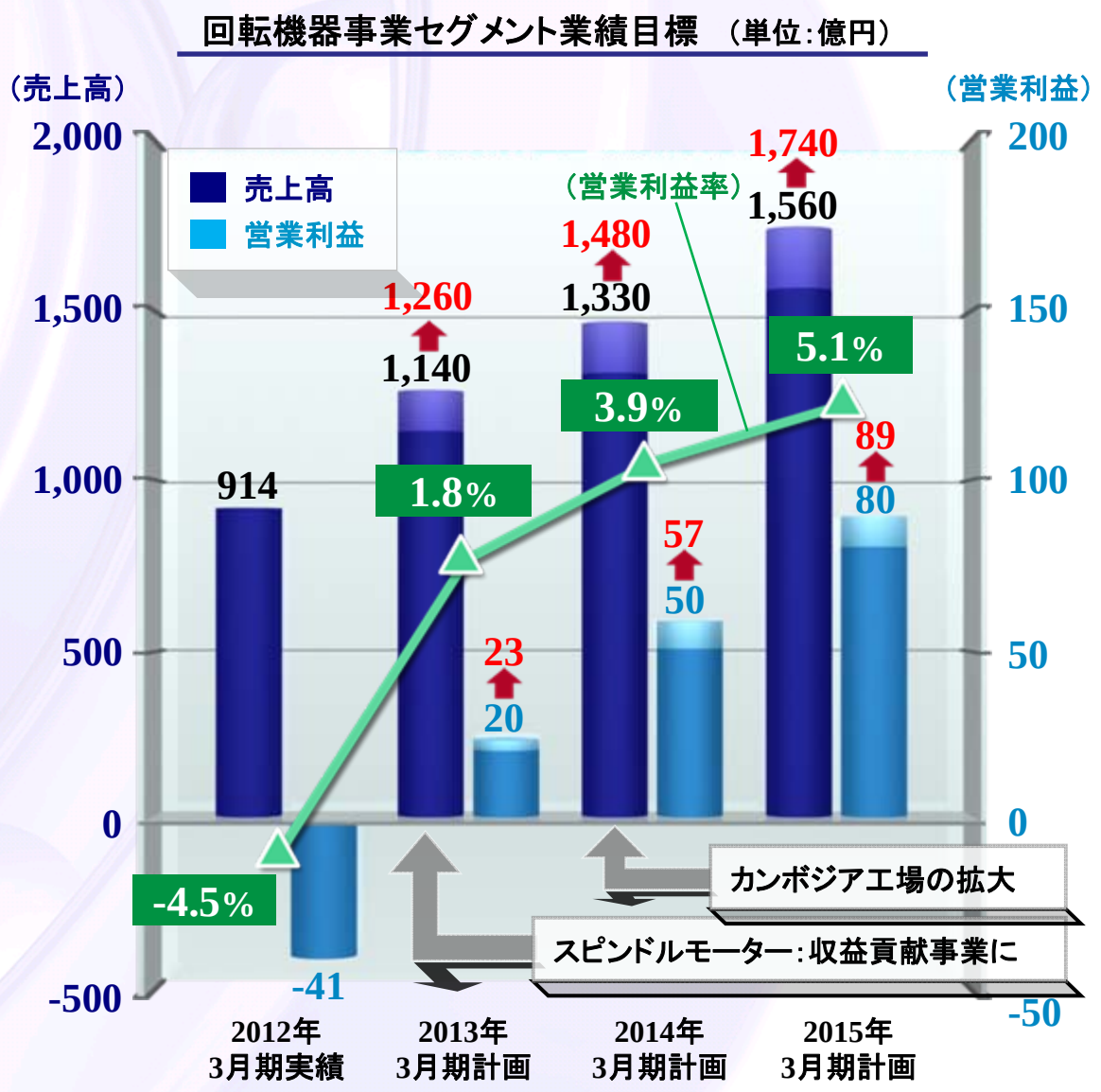
（出所：ボーイング、エアバス、予測はミネベア）

回転機器事業セグメント

■モーター事業は
収益貢献へ

■コスト競争力強化

カンボジア工場拡大、
垂直統合生産の改善、
韓国子会社との連携



HDDスピンドルモーターの収益改善

・歩留まり向上など、生産性改善が進展
・高付加価値製品中心の製品ミックスを維持
・新製品7mm厚2.5インチHDD向け製品は3ブランドへ供給へ

タイ大洪水被害からの自社生産能力完全復旧へ

第2四半期に黒字化へ挑戦
下半期以降は安定した収益体制の確立を目指す

各モーター事業の収益改善

大震災、大洪水からの販売回復を見込む

ブラシレスモーター	OA機器向け需要回復による数量拡大
ステッピングモーター	OA機器・自動車向け需要回復による数量拡大
ファンモーター	性能向上による拡販、生産性の向上
精密モーター	レゾルバの採用モデル増加で黒字拡大
DCブラシ付モーター	カンボジア生産の増加によるコスト削減
マイクロアクチュエータ	カンボジア生産の増加、 韓国子会社との連携によるコスト削減
振動モーター	縮小均衡を図る

カンボジア・モーター工場の拡張

アジア人件費高騰への対処＋リスク分散＋OEM事業

2011年12月から稼動開始
順次、小型モーター組立工程（マイクロアクチュエーター、DCブラシ付きモーター、DCブラシレスモーター）を移管中

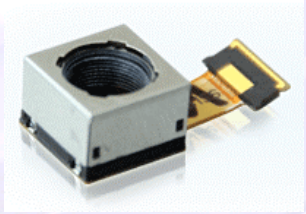
OEMビジネスへの参入などにより、
第2棟の建設着手（4月から杭打ちスタート）



韓国Moatech社の株式50.8%取得に合意







シェア拡大	ステッピングモーター市場で、ミネベア（12%シェア）、Moatech（11%）の2社が組むことで、トップグループ（31%）と並ぶ2強の一角に
低コスト製造能力	Moatechの低コスト製造能力をグループ内に取込む（ミネベアには無いフィリピン製造拠点）
優秀な経営陣	小型モーターのプロである優秀な経営陣が当社グループに参加
成長性	35%所有の上場子会社ハイソニックで、成長性の高いスマホ向け、タブレットPC向けオートフォーカス用ボイス・コイル・モーターを手がける
優良な財務体質	財務的に優良な企業を、割安に取得 自己資本比率76%、ネット現金保有約26億円
販路強化	韓国メーカーへの販路を強化

電子機器・その他事業セグメント

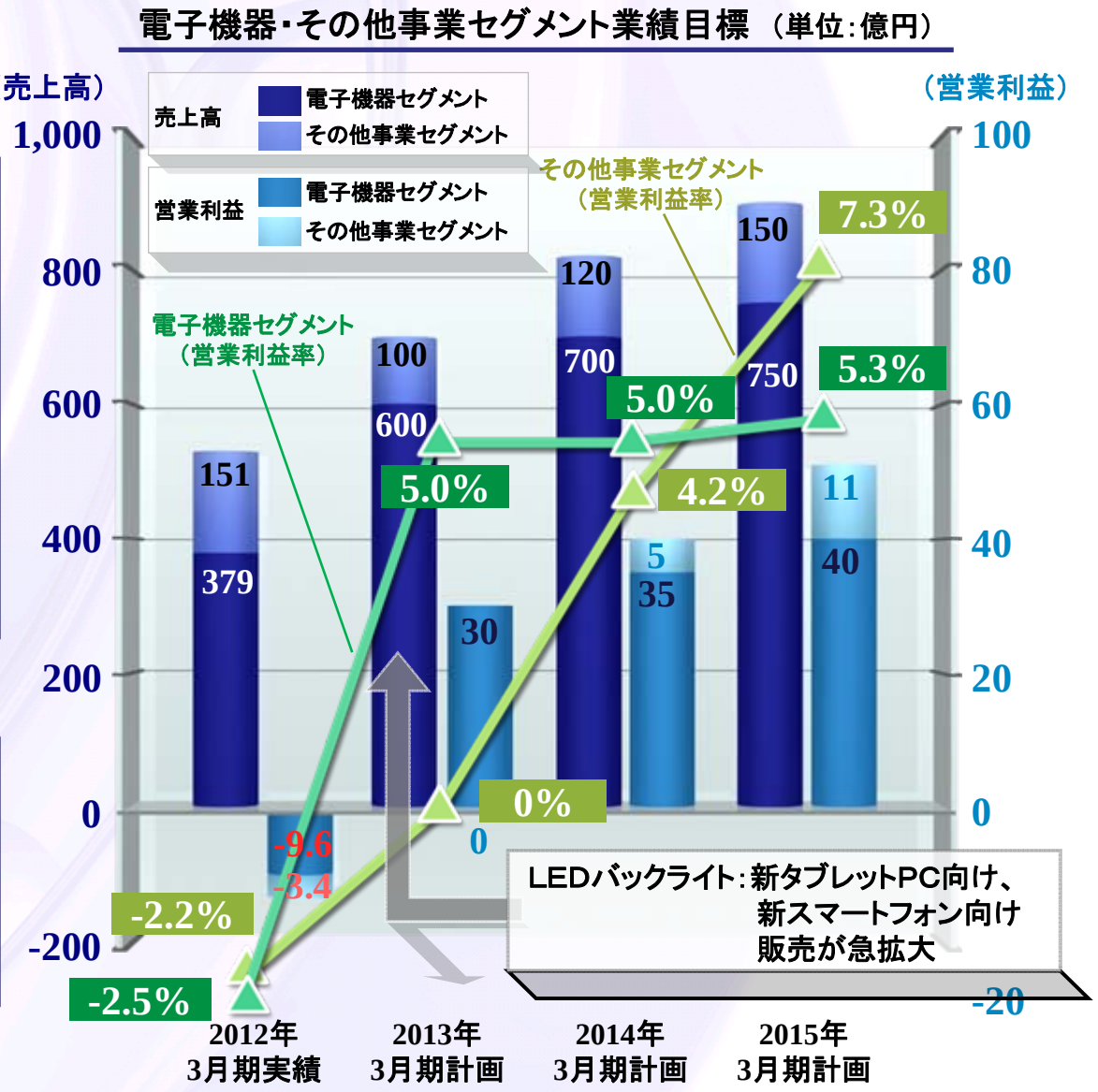
■ LEDバックライト収益拡大

タブレットPC向けLEDバックライトの出荷は、4月にスタート。下期へ向け販売急拡大

新スマートフォン向けは、 5月から増産開始

■計測機器販売拡大

自動車向け、医療機器向け、中華圏向け



新製品への事業展開(LED照明)

LED照明(ダウンライト)用薄型レンズの開発と特許取得

メリット1:薄型(コイン型)で低コスト

LEDバックライトで養った光学技術と超精密金型加工技術を活用して開発

メリット2:高い省エネ効果

光透過率95%を実現vs従来型レンズは85～90%

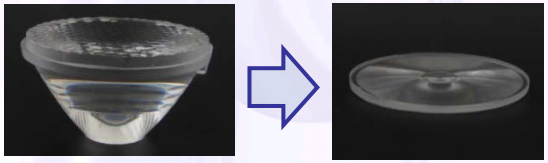
メリット3:低価格のマルチチップLEDが利用可能

光の均一性が良く、従来型レンズでは難しかった低コスト多素子集積型LEDが利用可能

メリット4:周辺技術も同時提供が可能

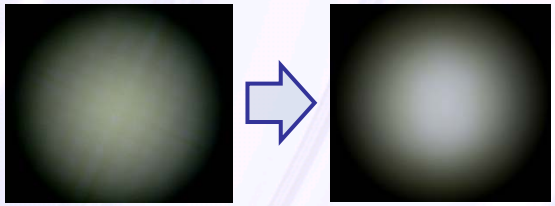
高効率駆動回路、無線(リモコン)、タッチパネルなど

レンズ



従来型　　薄型

光の品質

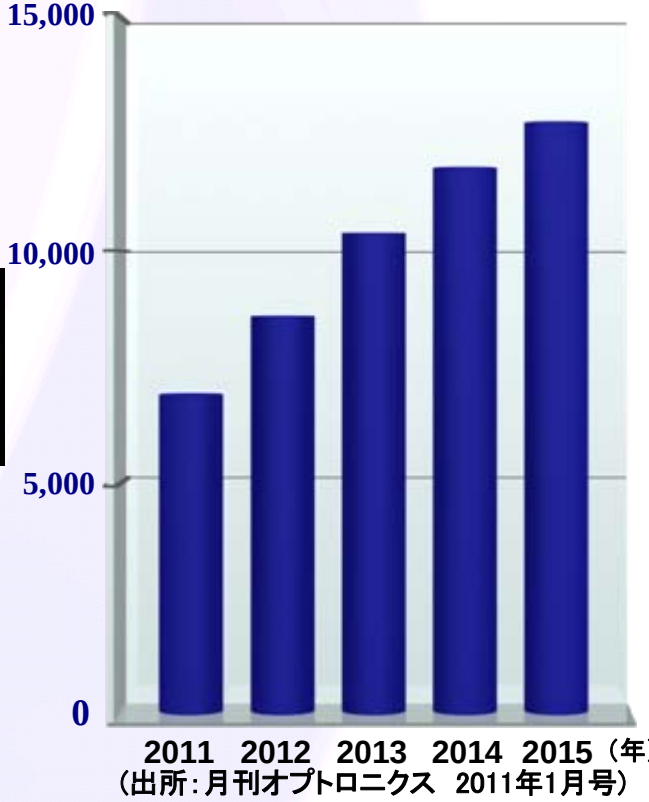


従来型　　薄型



LED-レンズモジュール

LEDダウンライト世界販売額予測



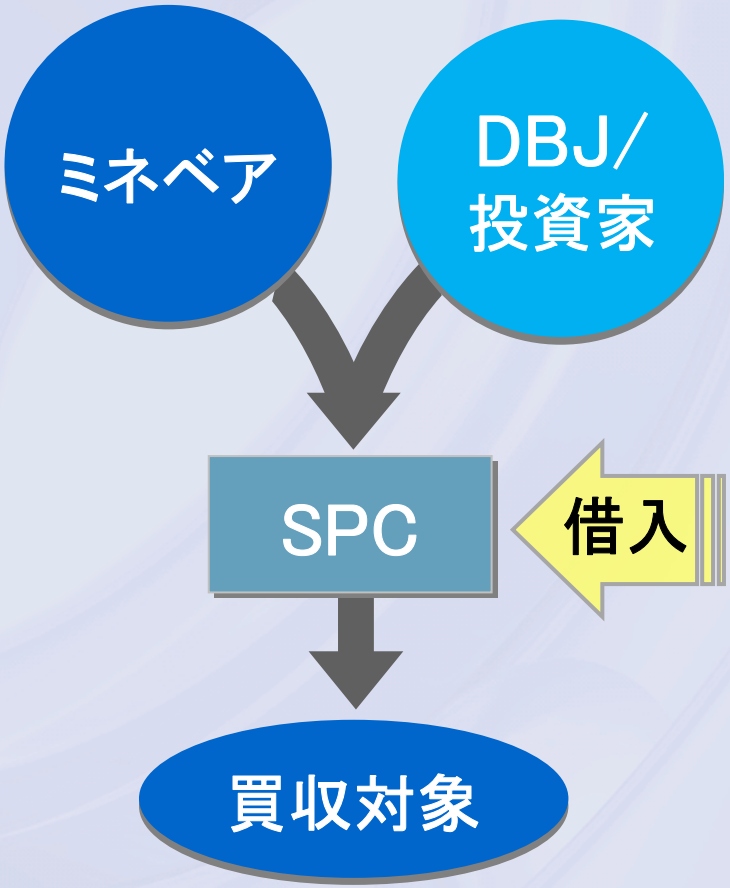
(出所:月刊オプトロニクス　2011年1月号)

LED-レンズモジュールを照明メーカーに販売するビジネスモデルで、3～4年後に100億円規模の売上を目指す

M&Aによる機械加工品事業の成長を加速する

Minebea
Passion to Exceed Precision

共同投資スキーム



最近の当社単独での買収案件

- **Moatech Co.**
- **第一精密産業**
- **DCブラシレスモーター**
  （元パナソニック（株）モータ社
  情報モータ事業部）
- **myonic Holding GmbH**
- **マイクロアクチュエーター**
  （元FDK（株）ステッピングモータ事業）

インセンティブ・プランの第2弾を導入

Minebea
Passion to Exceed Precision

2009年11月に導入した第1弾のE-ship ®は成功裏に終了

■従業員持株会加入率、従業員持株会による株式保有比率は、導入前の2倍以上に

■参加従業員への分配金を支給へ

株価重視経営の一環として、約22億円規模の「信託型従業員持株インセンティブ・プラン（E-Ship ® ）」の第2弾を導入

従業員に対して中期的な企業価値向上のインセンティブを付与

株価意識を共有することで従業員の経営参加意識を高め、業績向上につなげる

コーポレート・ガバナンスの向上

従業員持株会信託内の当社株式に係る議決権行使を通じて、従業員が株主として今まで以上にその意思を企業経営に反映させることが可能となり、当社のコーポレート・ガバナンスの向上につながる

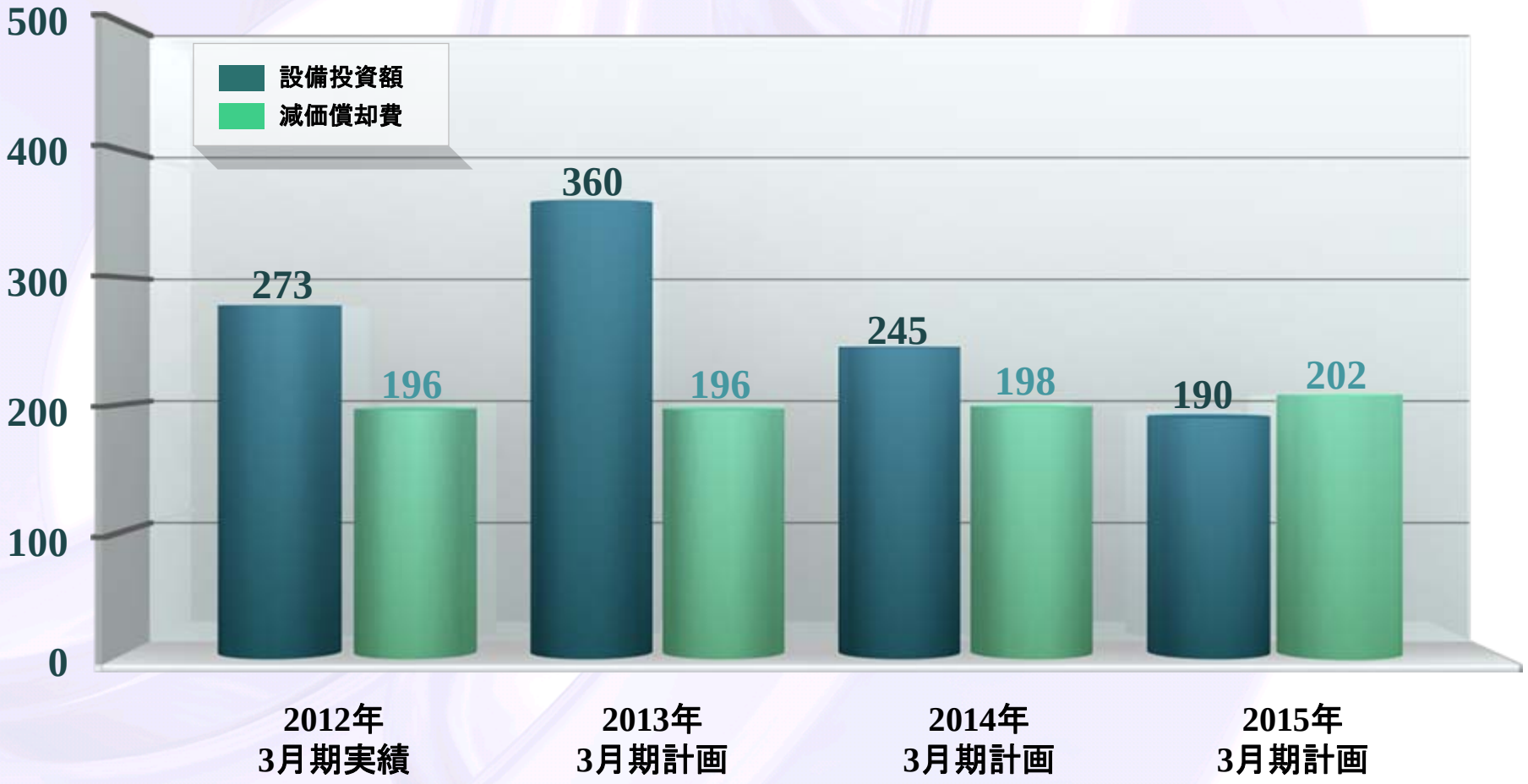
従業員の福利厚生増進策

※E-Ship®は信託型従業員持株インセンティブ・プラン（Employee Shareholding Incentive Plan）の略称で、野村證券株式会社の登録商標です

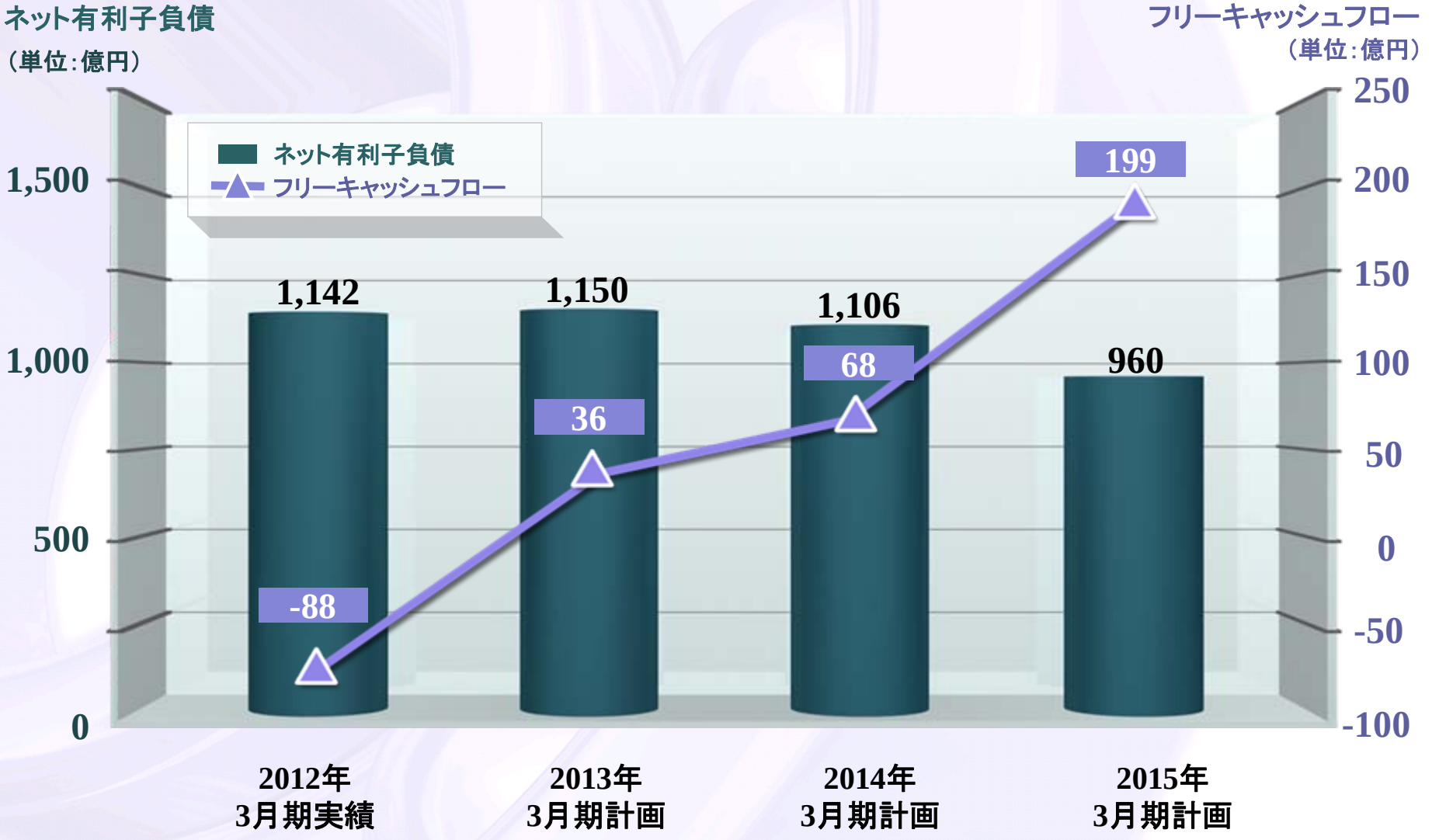
新中期設備投資計画

3年間で 795億円の設備投資を計画

新中期設備投資計画 （単位：億円）



新中期ネット有利子負債計画



株主還元

配当方針

12/3期		期末配当4円/株　計年7円/株
13/3期	予想配当	中間配当3円/株
		期末配当4円/株

・「当社は、経営環境を総合的に勘案し、継続的に安定した利益配分を維持しながら、株主資本の効率向上と株主へのより良い利益配分を第一義とし、業績をより反映した水準での利益還元をはかることを基本方針といたします 」

自己株式戦略の継続

・経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行

ミネベア株式会社

決算説明会

http://www.minebea.co.jp/

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。
実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。
実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計･開発、製造･販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。
本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段･方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製･変更･転載･転送等を行わないようお願いいたします。